

## 第2章 要介護認定者調査

## 第2章 要介護認定者調査

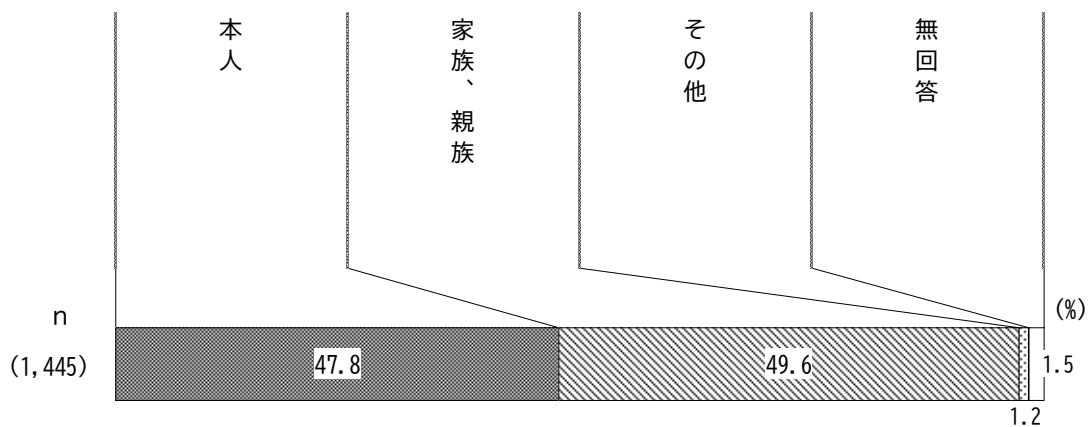
### 1. 本人や家族の状況について

#### (1) 調査票の回答者

問1 この調査票を記入されるのはどなたですか。○をつけてください。

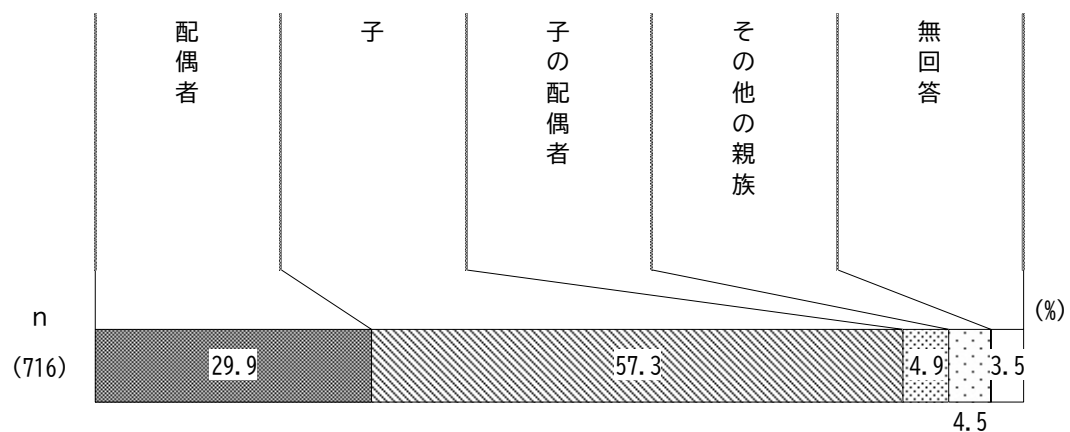
調査票の回答者は、「家族、親族」が49.6%で最も高く、次いで「本人」が47.8%となっている。

図表2-1-1 調査票の記入者



家族・親族の内訳は、「子」が57.3%で最も高く、次いで「配偶者」が29.9%、「子の配偶者」が4.9%となっている。

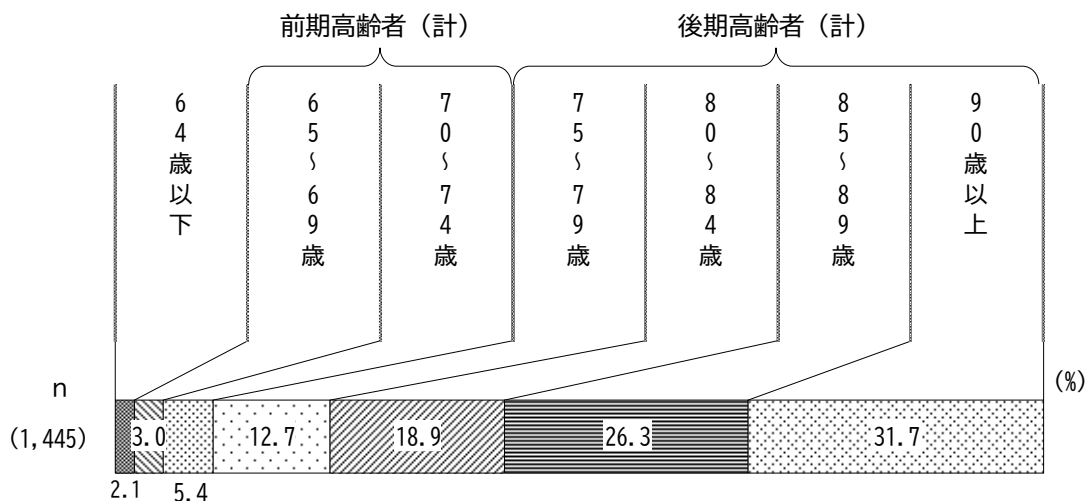
図表2-1-2 家族・親族の内訳



(2) 年齢

年齢は、「90歳以上」が31.7%で最も高く、次いで「85～89歳」が26.3%、「80～84歳」が18.9%となっている。64歳以下を除く全体では、≪前期高齢者（計）≫が8.4%、≪後期高齢者（計）≫が89.6%となっている。

図表2-1-3 年齢

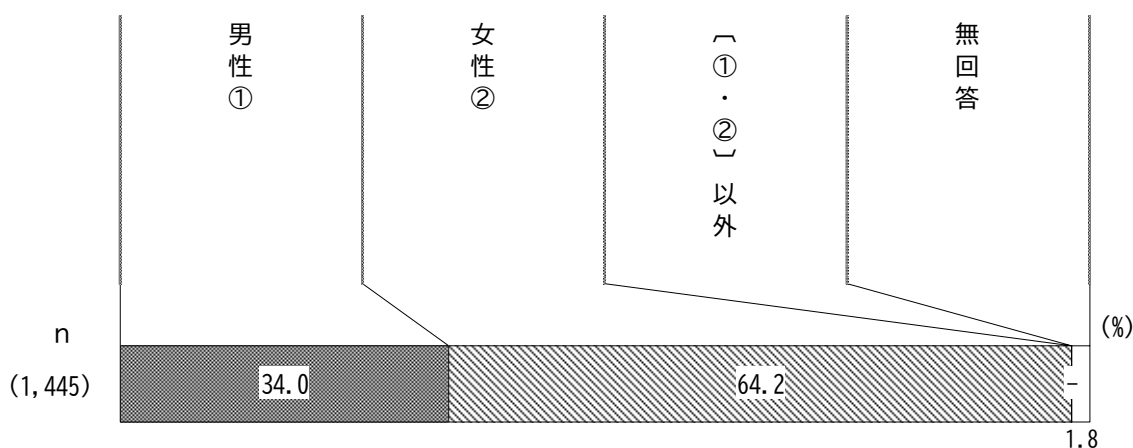


(3) 性別

問2 あなたの性別を教えてください。(○は1つ)

性別は、「男性」が34.0%、「女性」が64.2%となっている。

図表2-1-4 性別

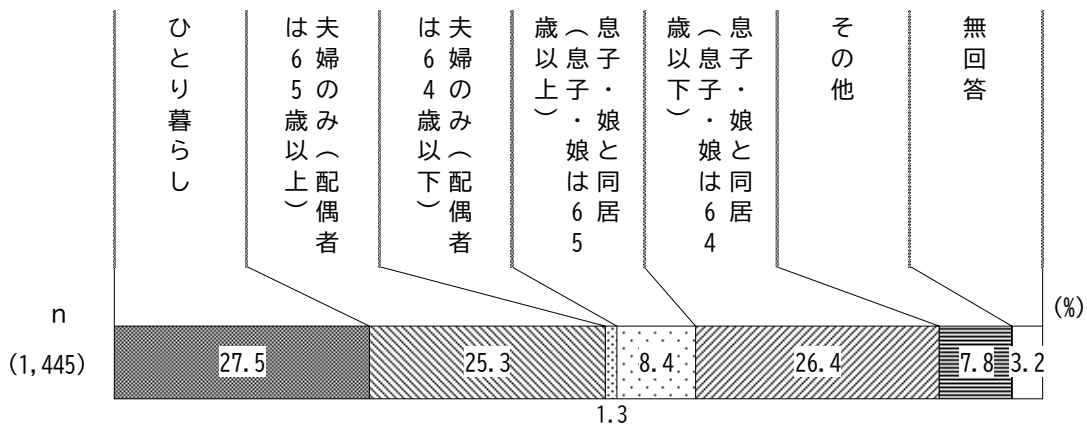


(4) 家族構成

問3 あなたの家族構成を教えてください。(○は1つ)

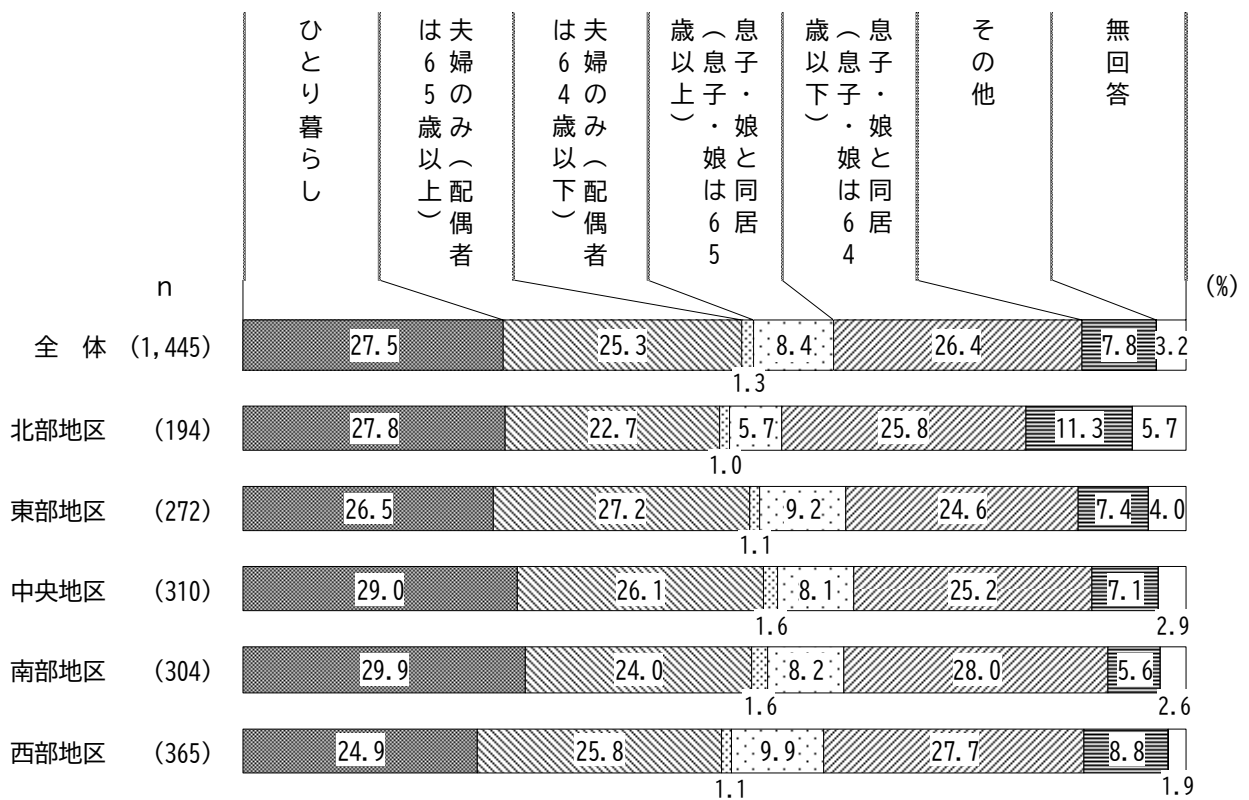
家族構成は、「ひとり暮らし」が27.5%で最も高く、次いで「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」が26.4%、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」が25.3%となっている。

図表2-1-5 家族構成



家族構成を居住地区別で見ると、「ひとり暮らし」は「南部地区」で29.9%と最も高くなっている。

図表2-1-6 家族構成（居住地区別）



## 第2章 要介護認定者調査

家族構成を性別でみると、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」は男性39.1%、女性18.6%で男性が上回っており、「ひとり暮らし」は男性15.7%、女性34.2%で女性が上回っている。

また、年齢別にみると、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」は男性では80～84歳（44.7%）、女性では75～79歳（39.2%）が最も高くなっており、「ひとり暮らし」は男性では65～69歳（31.8%）、女性では90歳以上（36.8%）が最も高くなっている。

図表2-1-7 家族構成（性別・年齢別）

項目	調査数 (n)	(上段:回答数、下段:%)						
		ひとり暮らし	6夫婦5歳以上のみ(配偶者は)	6夫婦4歳以下(配偶者は)	息子・子娘は娘は6と5同居以上(息)	息子・子娘は娘は6と4同居以下(息)	その他	無回答
全体	1,445	398	366	19	122	381	113	46
	100.0	27.5	25.3	1.3	8.4	26.4	7.8	3.2
男性全体	491	77	192	13	22	138	42	7
	100.0	15.7	39.1	2.6	4.5	28.1	8.6	1.4
男性 64歳以下	18	4	1	4	-	6	3	-
	100.0	22.2	5.6	22.2	-	33.3	16.7	-
男性 65～69歳	22	7	5	2	1	4	2	1
	100.0	31.8	22.7	9.1	4.5	18.2	9.1	4.5
男性 70～74歳	39	9	14	4	-	6	5	1
	100.0	23.1	35.9	10.3	-	15.4	12.8	2.6
男性 75～79歳	79	10	35	1	1	21	10	1
	100.0	12.7	44.3	1.3	1.3	26.6	12.7	1.3
男性 80～84歳	103	15	46	1	-	28	11	2
	100.0	14.6	44.7	1.0	-	27.2	10.7	1.9
男性 85～89歳	108	12	48	1	6	38	2	1
	100.0	11.1	44.4	0.9	5.6	35.2	1.9	0.9
男性 90歳以上	122	20	43	-	14	35	9	1
	100.0	16.4	35.2	-	11.5	28.7	7.4	0.8
女性全体	928	317	173	6	99	240	67	26
	100.0	34.2	18.6	0.6	10.7	25.9	7.2	2.8
女性 64歳以下	11	1	-	3	-	3	3	1
	100.0	9.1	-	27.3	-	27.3	27.3	9.1
女性 65～69歳	20	6	5	1	-	6	2	-
	100.0	30.0	25.0	5.0	-	30.0	10.0	-
女性 70～74歳	37	11	9	-	1	7	5	4
	100.0	29.7	24.3	-	2.7	18.9	13.5	10.8
女性 75～79歳	102	33	40	-	-	23	4	2
	100.0	32.4	39.2	-	-	22.5	3.9	2.0
女性 80～84歳	166	53	46	2	4	41	15	5
	100.0	31.9	27.7	1.2	2.4	24.7	9.0	3.0
女性 85～89歳	263	92	45	-	8	90	19	9
	100.0	35.0	17.1	-	3.0	34.2	7.2	3.4
女性 90歳以上	329	121	28	-	86	70	19	5
	100.0	36.8	8.5	-	26.1	21.3	5.8	1.5
無回答	26	4	1	-	1	3	4	13
	100.0	15.4	3.8	-	3.8	11.5	15.4	50.0

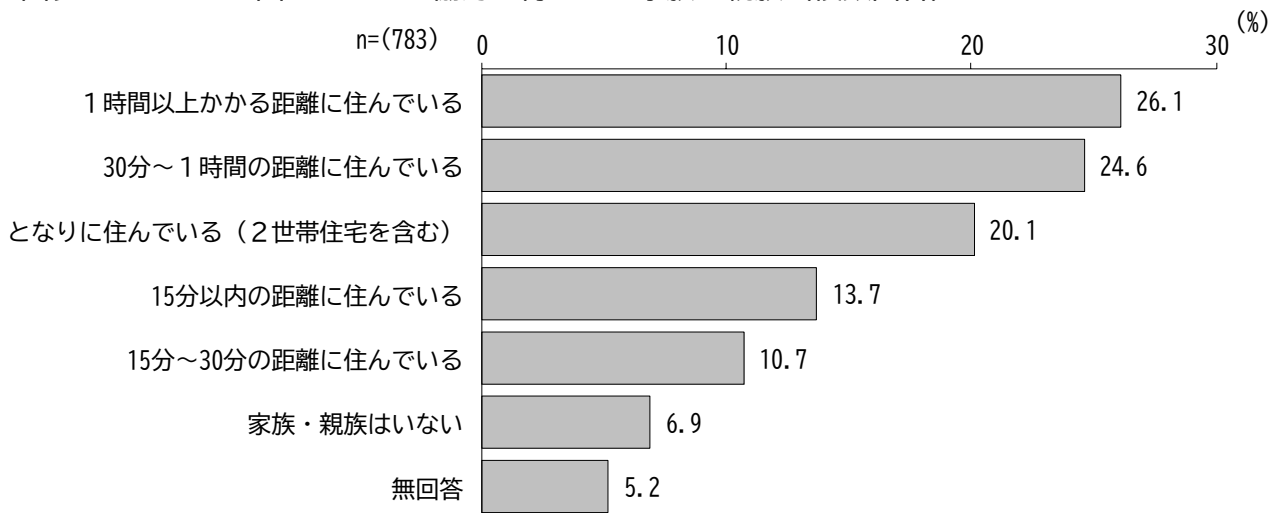
(5) 困りごとへの協力を得られる家族・親族

【問3で、「1」「2」「3」と回答した方におたずねします。】

問3-1 困りごとへの協力を得られるご家族・親族は近隣にお住まいですか。(〇はいくつでも) ※通常使用する交通手段による時間でお答えください。

ご家族・親族の居住地の距離は、「1時間以上かかる距離に住んでいる」が26.1%で最も高く、次いで「30分～1時間の距離に住んでいる」が24.6%、「となりに住んでいる(2世帯住宅を含む)」が20.1%となっている。

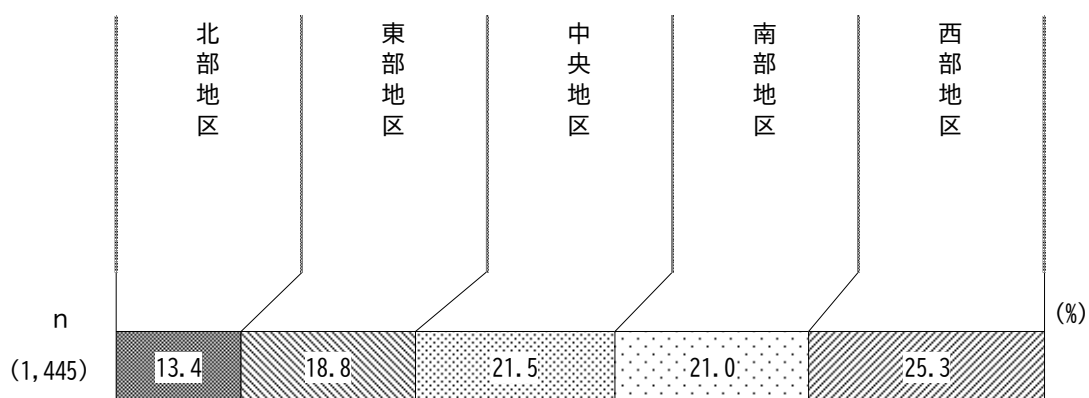
図表2-1-8 困りごとへの協力を得られる家族・親族(複数回答)



(6) 居住地区

居住地区は、「西部地区」が25.3%で最も高く、次いで「中央地区」が21.5%、「南部地区」が21.0%となっている。

図表2-1-9 居住地区

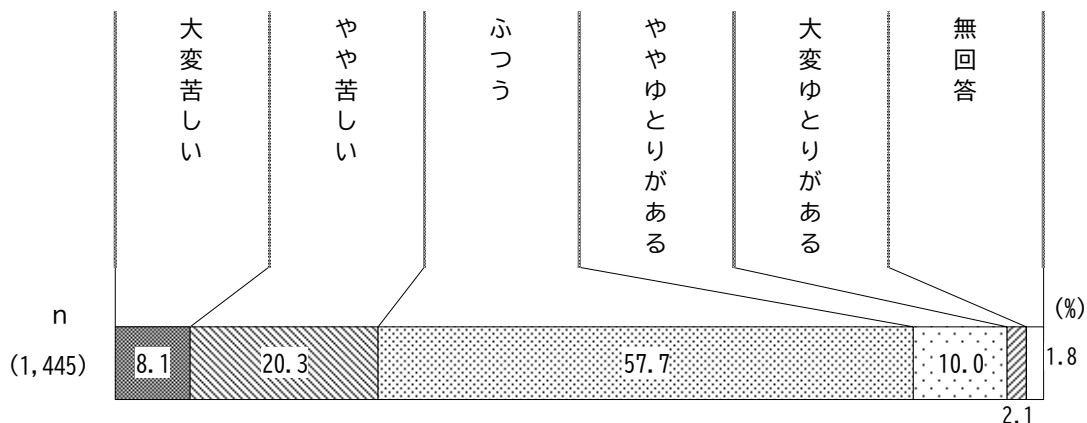


(7) 現在の暮らしの状況

問4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか。(○は1つ)

現在の暮らしの状況は、「ふつう」が57.7%で最も高く、次いで「やや苦しい」が20.3%、「ややゆとりがある」が10.0%となっている。

図表2-1-10 現在の暮らしの状況

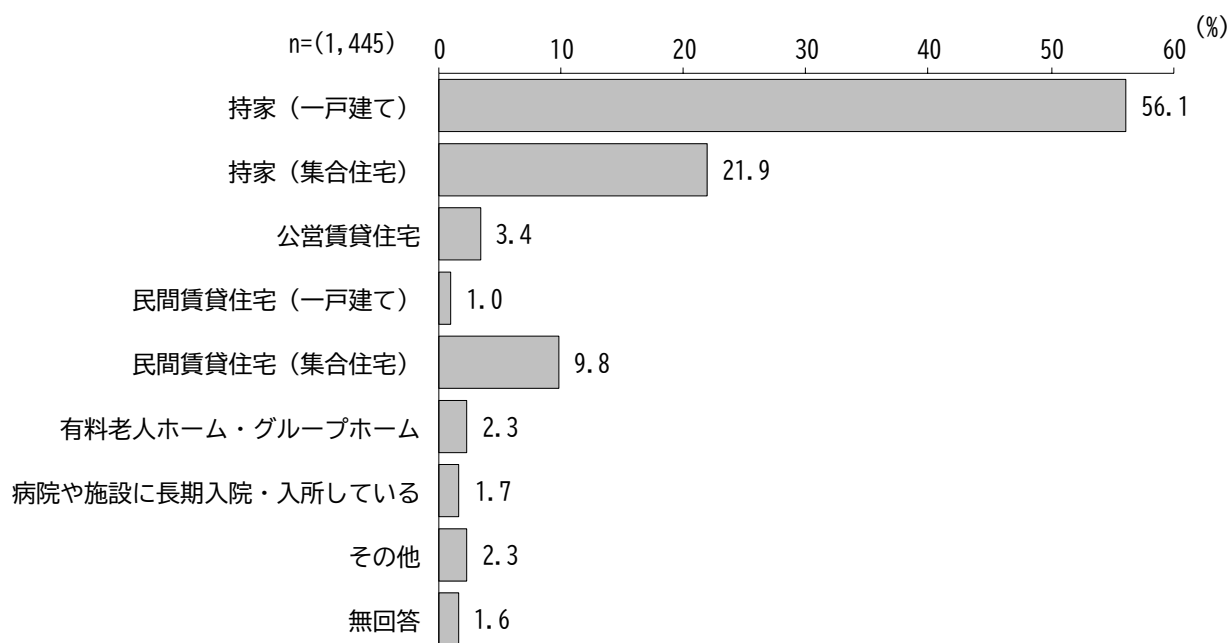


(8) 現在の住まいの種類

問5 現在のお住まいの種類はどれにあたりますか。(○は1つ)

現在の住まいの種類は、「持家（一戸建て）」が56.1%で最も高く、次いで「持家（集合住宅）」が21.9%、「民間賃貸住宅（集合住宅）」が9.8%となっている。

図表2-1-11 現在の住まいの種類

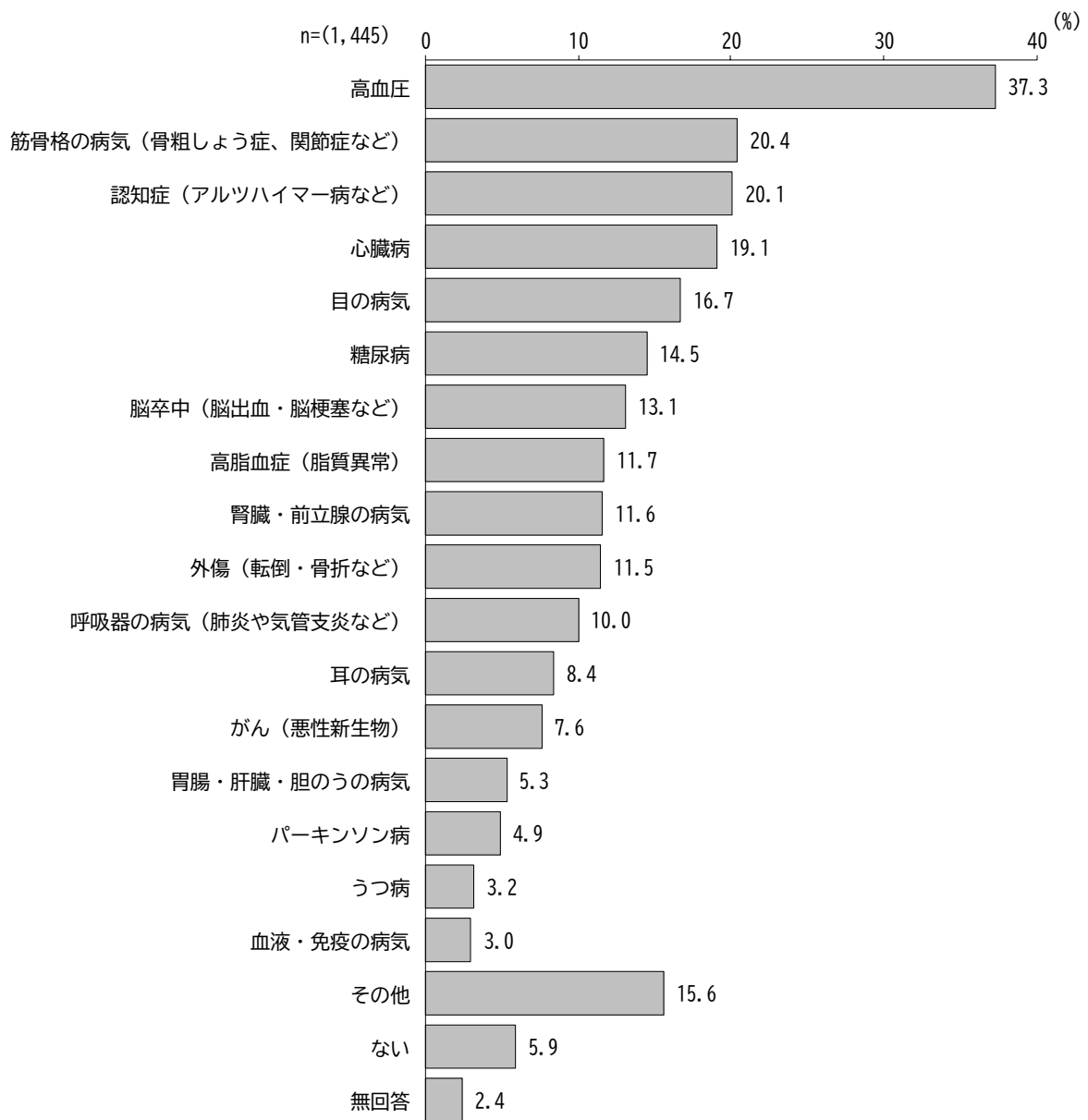


## (9) 疾病の状況

問6 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか。(○はいくつでも)

疾病の状況は、「高血圧」が37.3%で最も高く、次いで「筋骨格の病気（骨粗しょう症、関節症など）」が20.4%、「認知症（アルツハイマー病など）」が20.1%となっている。

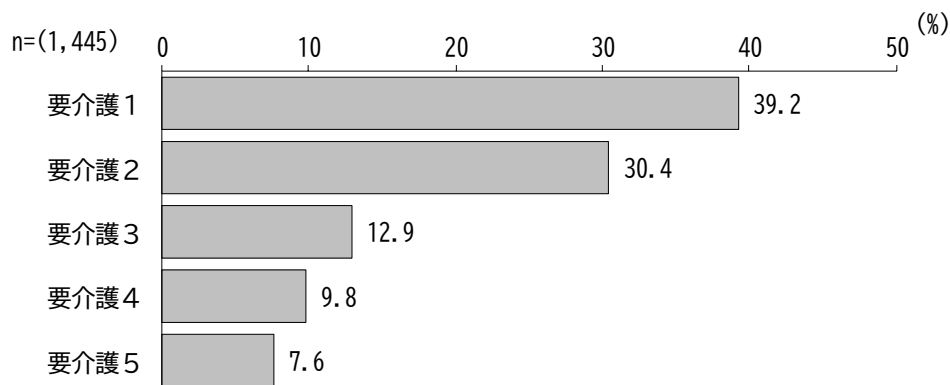
図表2-1-12 疾病の状況（複数回答）



(10) 要介護度

要介護度は、「要介護1」が39.2%で最も高く、次いで「要介護2」が30.4%、「要介護3」が12.9%となっている。

図表2-1-13 要介護度



要介護度を性別でみると、「要介護1」は男性37.5%、女性40.1%となっている。

図表2-1-14 要介護度（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

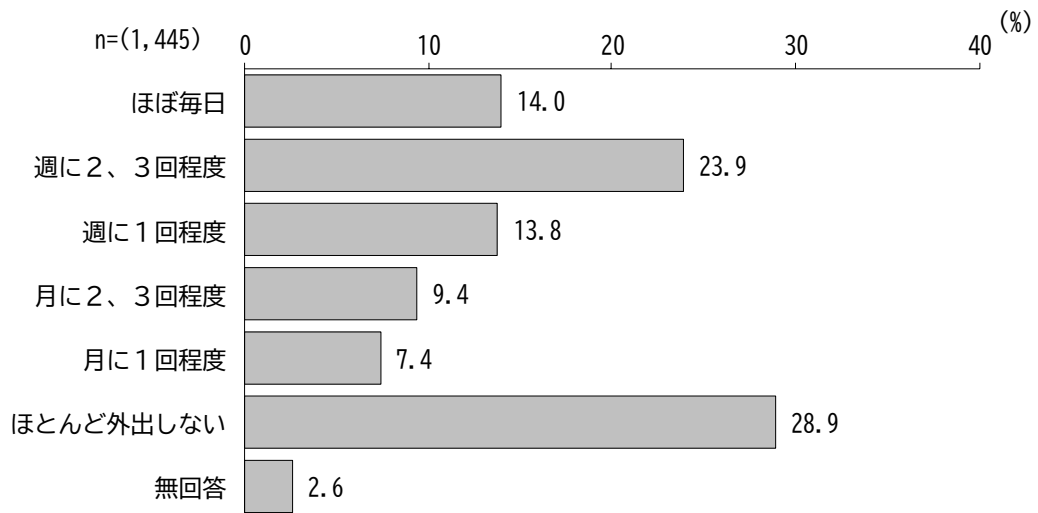
項目	調査数 (n)	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	
全体	1,445	567	440	186	142	110	
	100.0	39.2	30.4	12.9	9.8	7.6	
性別・年齢別	男性全体	491	184	145	65	53	44
		100.0	37.5	29.5	13.2	10.8	9.0
	男性 64歳以下	18	6	7	4	-	1
		100.0	33.3	38.9	22.2	-	5.6
	男性 65～69歳	22	9	5	2	1	5
		100.0	40.9	22.7	9.1	4.5	22.7
	男性 70～74歳	39	15	11	8	4	1
		100.0	38.5	28.2	20.5	10.3	2.6
	男性 75～79歳	79	28	20	10	10	11
		100.0	35.4	25.3	12.7	12.7	13.9
	男性 80～84歳	103	40	34	8	9	12
		100.0	38.8	33.0	7.8	8.7	11.7
	男性 85～89歳	108	39	31	18	13	7
		100.0	36.1	28.7	16.7	12.0	6.5
	男性 90歳以上	122	47	37	15	16	7
		100.0	38.5	30.3	12.3	13.1	5.7
	女性全体	928	372	287	117	88	64
		100.0	40.1	30.9	12.6	9.5	6.9
	女性 64歳以下	11	2	5	1	1	2
	100.0	18.2	45.5	9.1	9.1	18.2	
女性 65～69歳	20	6	8	2	2	2	
	100.0	30.0	40.0	10.0	10.0	10.0	
女性 70～74歳	37	9	14	5	5	4	
	100.0	24.3	37.8	13.5	13.5	10.8	
女性 75～79歳	102	40	32	10	12	8	
	100.0	39.2	31.4	9.8	11.8	7.8	
女性 80～84歳	166	80	42	22	16	6	
	100.0	48.2	25.3	13.3	9.6	3.6	
女性 85～89歳	263	122	76	27	22	16	
	100.0	46.4	28.9	10.3	8.4	6.1	
女性 90歳以上	329	113	110	50	30	26	
	100.0	34.3	33.4	15.2	9.1	7.9	
無回答	26	11	8	4	1	2	
	100.0	42.3	30.8	15.4	3.8	7.7	

(11) 外出の状況

問7 近所への買い物、散歩、通院などを含め、外出することはどのくらいありますか。(デイサービスの利用は含まないでお答えください。)(○は1つ)

外出の状況は、「ほとんど外出しない」が28.9%で最も高く、次いで「週に2、3回程度」が23.9%、「ほぼ毎日」が14.0%となっている。

図表2-1-15 外出の状況



外出の状況を性別で見ると、「ほぼ毎日」は男性18.5%、女性11.6%で男性が上回っている。  
「ほとんど外出しない」は65歳以降は年齢が上がるとともに高くなる傾向にあり、男性90歳以上で43.4%、女性90歳以上で39.5%となっている。

図表2-1-16 外出の状況（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	ほぼ毎日	週に2、3 回程度	週に1 回程度	月に2、3 回程度	月に1 回程度	(上段:回答数、下段:%)		
							ほとんど 外出しない	無回答	
全体	1,445	202	345	199	136	107	418	38	
	100.0	14.0	23.9	13.8	9.4	7.4	28.9	2.6	
性別・年齢別	男性全体	491	91	110	71	36	36	133	14
		100.0	18.5	22.4	14.5	7.3	7.3	27.1	2.9
	男性 64歳以下	18	3	5	4	-	-	6	-
		100.0	16.7	27.8	22.2	-	-	33.3	-
	男性 65~69歳	22	10	5	2	1	1	3	-
		100.0	45.5	22.7	9.1	4.5	4.5	13.6	-
	男性 70~74歳	39	6	7	12	3	3	7	1
		100.0	15.4	17.9	30.8	7.7	7.7	17.9	2.6
	男性 75~79歳	79	18	23	9	3	8	16	2
		100.0	22.8	29.1	11.4	3.8	10.1	20.3	2.5
	男性 80~84歳	103	23	25	11	9	9	21	5
		100.0	22.3	24.3	10.7	8.7	8.7	20.4	4.9
	男性 85~89歳	108	17	24	20	13	6	27	1
		100.0	15.7	22.2	18.5	12.0	5.6	25.0	0.9
	男性 90歳以上	122	14	21	13	7	9	53	5
		100.0	11.5	17.2	10.7	5.7	7.4	43.4	4.1
	女性全体	928	108	230	128	99	68	281	14
		100.0	11.6	24.8	13.8	10.7	7.3	30.3	1.5
女性 64歳以下	11	1	2	2	2	-	4	-	
	100.0	9.1	18.2	18.2	18.2	-	36.4	-	
女性 65~69歳	20	4	9	3	2	-	2	-	
	100.0	20.0	45.0	15.0	10.0	-	10.0	-	
女性 70~74歳	37	3	15	5	3	2	9	-	
	100.0	8.1	40.5	13.5	8.1	5.4	24.3	-	
女性 75~79歳	102	18	34	16	10	4	19	1	
	100.0	17.6	33.3	15.7	9.8	3.9	18.6	1.0	
女性 80~84歳	166	28	50	24	12	7	43	2	
	100.0	16.9	30.1	14.5	7.2	4.2	25.9	1.2	
女性 85~89歳	263	28	73	29	34	21	74	4	
	100.0	10.6	27.8	11.0	12.9	8.0	28.1	1.5	
女性 90歳以上	329	26	47	49	36	34	130	7	
	100.0	7.9	14.3	14.9	10.9	10.3	39.5	2.1	
無回答	26	3	5	-	1	3	4	10	
	100.0	11.5	19.2	-	3.8	11.5	15.4	38.5	

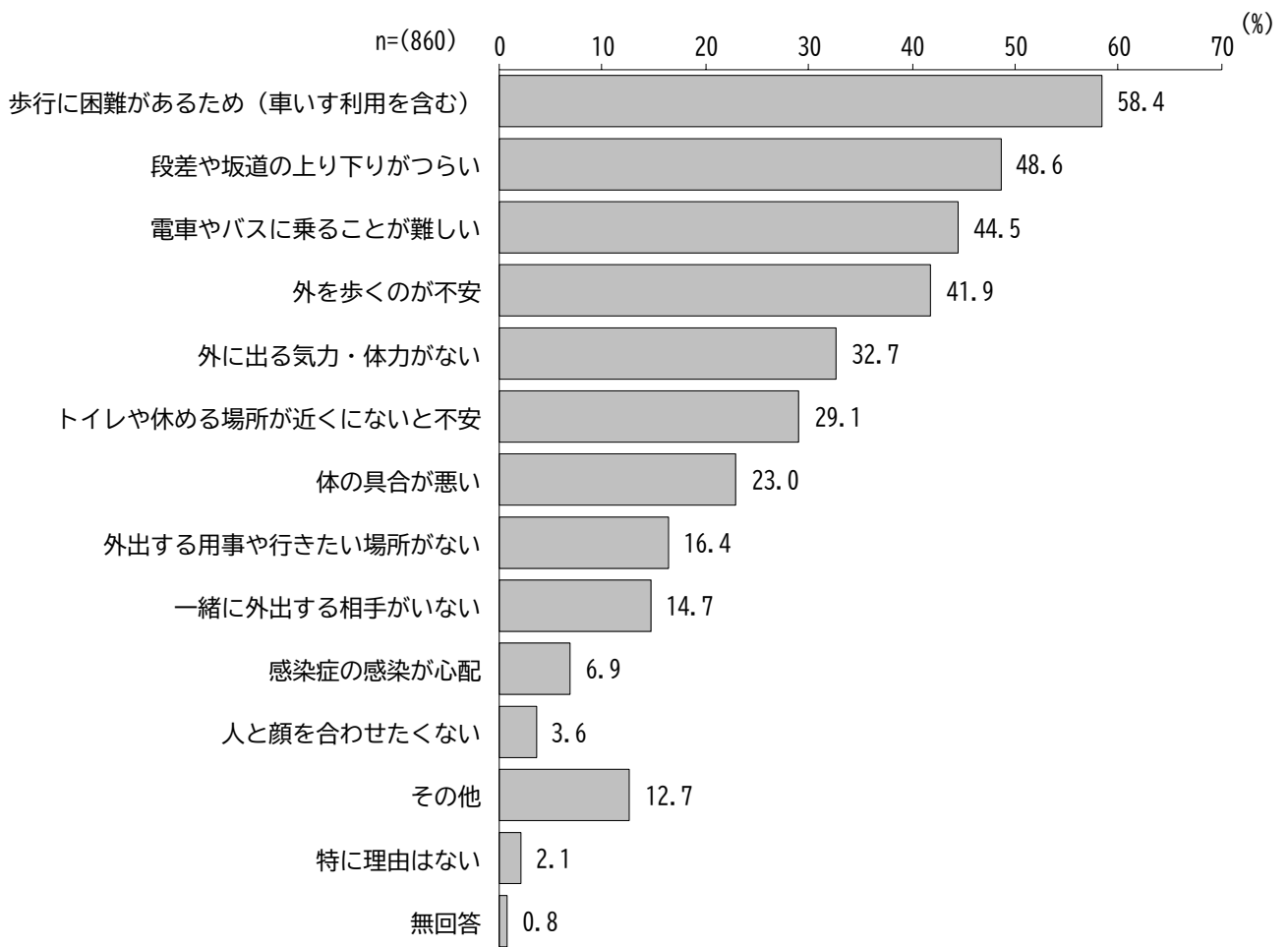
(12) 外出機会が少なくなる理由

【問7で、「3」「4」「5」「6」と回答した方におたずねします。】

問7-1 外出の機会が少なくなる理由は何ですか。(〇はいくつでも)

外出機会が少なくなる理由は、「歩行に困難があるため（車いす利用を含む）」が58.4%で最も高く、次いで「段差や坂道の上下りがつらい」が48.6%、「電車やバスに乗ることが難しい」が44.5%となっている。

図表2-1-17 外出機会が少なくなる理由（複数回答）



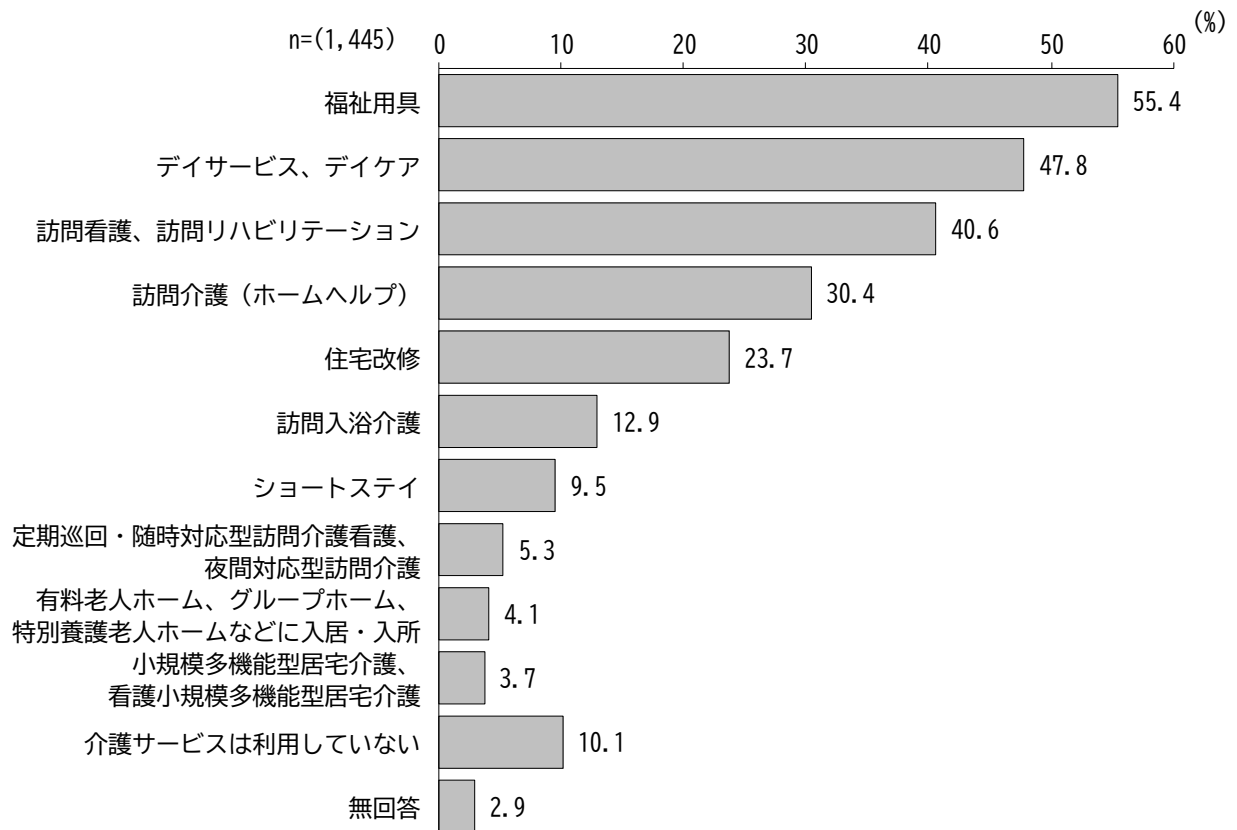
## 2. 介護サービスの利用について

### (1) 介護サービスの利用状況

問8 あなたが利用している介護サービスを教えてください。(○はいくつでも)

介護サービスの利用状況は、「福祉用具」が55.4%で最も高く、次いで「デイサービス、デイケア」が47.8%、「訪問看護、訪問リハビリテーション」が40.6%となっている。

図表2-2-1 介護サービスの利用状況（複数回答）



## 第2章 要介護認定者調査

介護サービスの利用状況を要介護度別にみると、「福祉用具」は「要介護2」から「要介護5」でそれぞれ最も高くなっており、「要介護3」では69.9%となっている。「訪問看護、訪問リハビリテーション」は「要介護5」で58.2%となっている。「デイサービス、デイケア」は「要介護2」で55.5%と最も高く、要介護度が上がるほど低くなっている。

図表2-2-2 介護サービスの利用状況（要介護度別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	福祉用具	デイサービス、 デイケア	訪問看護、 訪問リハビリ テーション	訪問介護 (ホームヘルプ)	住宅 改修	訪問 入浴介護	シ ョ ー ト ス テ イ	定 期 巡 回 ・ 夜 間 対 応 型 訪 問 介 護	有 料 老 人 ホ ー ム ・ 特 別 入 所 ・ グ ル ー プ ホ ー ム	小 規 模 多 機 能 型 居 宅 介 護	利 用 し て い な い	無 回 答	
全体	1,445 100.0	800 55.4	691 47.8	586 40.6	440 30.4	342 23.7	187 12.9	137 9.5	77 5.3	59 4.1	54 3.7	146 10.1	42 2.9	
要 介 護 度	要介護1	567 100.0	243 42.9	248 43.7	174 30.7	152 26.8	115 20.3	41 7.2	22 3.9	16 2.8	10 1.8	11 1.9	77 13.6	23 4.1
	要介護2	440 100.0	262 59.5	244 55.5	189 43.0	137 31.1	115 26.1	57 13.0	35 8.0	22 5.0	7 1.6	17 3.9	30 6.8	11 2.5
	要介護3	186 100.0	130 69.9	102 54.8	92 49.5	59 31.7	44 23.7	32 17.2	36 19.4	9 4.8	17 9.1	12 6.5	9 4.8	4 2.2
	要介護4	142 100.0	91 64.1	60 42.3	67 47.2	50 35.2	41 28.9	31 21.8	23 16.2	12 8.5	11 7.7	5 3.5	13 9.2	2 1.4
	要介護5	110 100.0	74 67.3	37 33.6	64 58.2	42 38.2	27 24.5	26 23.6	21 19.1	18 16.4	14 12.7	9 8.2	17 15.5	2 1.8

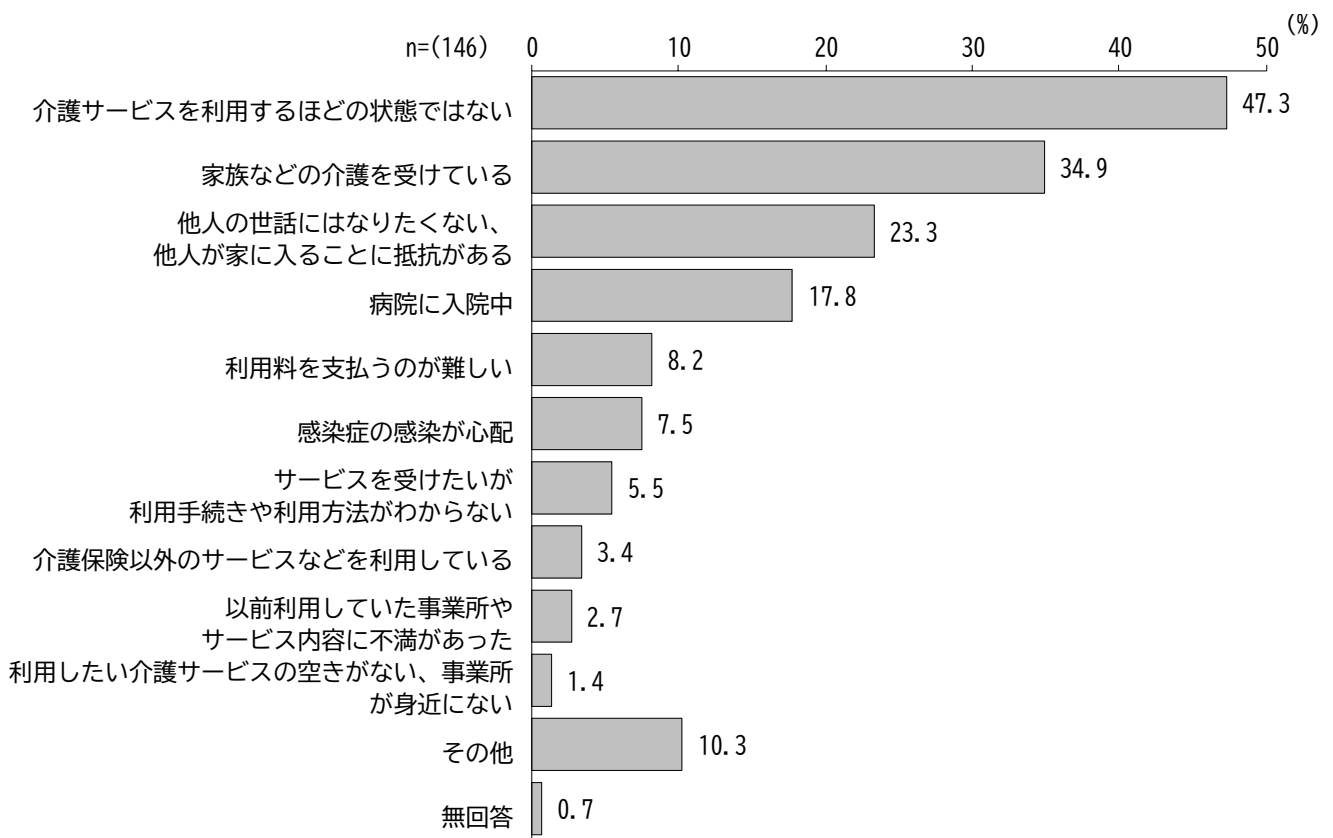
## (2) 介護サービスを利用していない理由

【問8で「11」と回答した方におたずねします。】

問8-1 介護サービスを利用していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

介護サービスを利用していない理由は、「介護サービスを利用するほどの状態ではない」が47.3%で最も高く、次いで「家族などの介護を受けている」が34.9%、「他人の世話にはなりたくない、他人が家に入ることに抵抗がある」が23.3%となっている。

図表2-2-3 介護サービスを利用していない理由（複数回答）



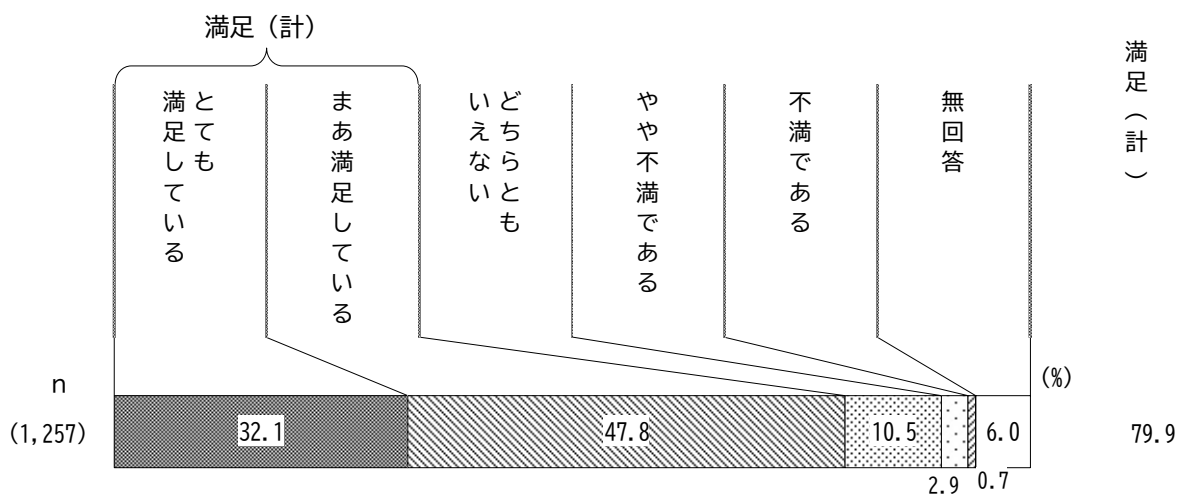
(3) ケアマネジャーや利用している介護サービス全般についての満足度

【問9は問8で「1」～「10」と回答した方におたずねします。】

問9 ケアマネジャーや利用している介護サービス全般について、満足していますか。  
(○は1つ)

ケアマネジャーや利用している介護サービス全般についての満足度は、「まあ満足している」が47.8%で最も高く、「とても満足している」と「まあ満足している」を合わせた「満足(計)」は79.9%となっている。

図表2-2-4 ケアマネジャーや利用している介護サービス全般についての満足度



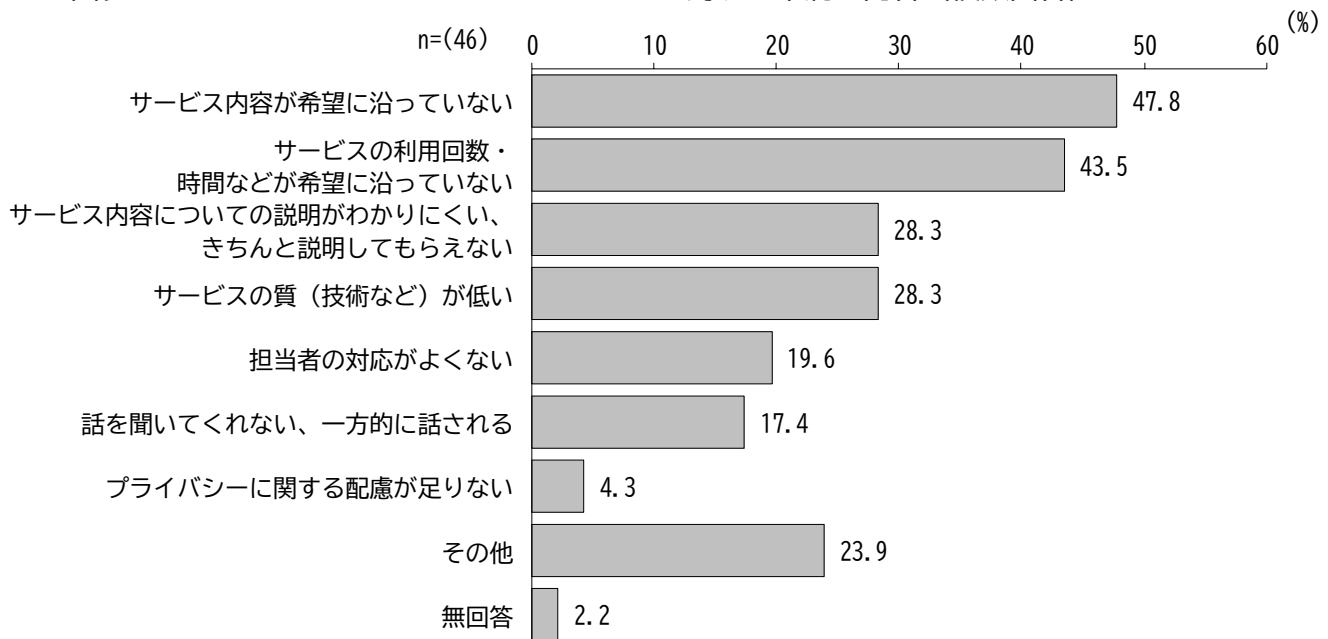
## (4) ケアマネジャーやサービスに対する不満の内容

【問9で「4」「5」と回答した方におたずねします。】

問9-1 どのようなことに不満がありますか。(〇はいくつでも)

ケアマネジャーやサービスに対する不満の内容は、「サービス内容が希望に沿っていない」が47.8%で最も高く、次いで「サービスの利用回数・時間などが希望に沿っていない」が43.5%、「サービス内容についての説明がわかりにくい、きちんと説明してもらえない」「サービスの質（技術など）が低い」がともに28.3%となっている。

図表2-2-5 ケアマネジャーやサービスに対する不満の内容（複数回答）

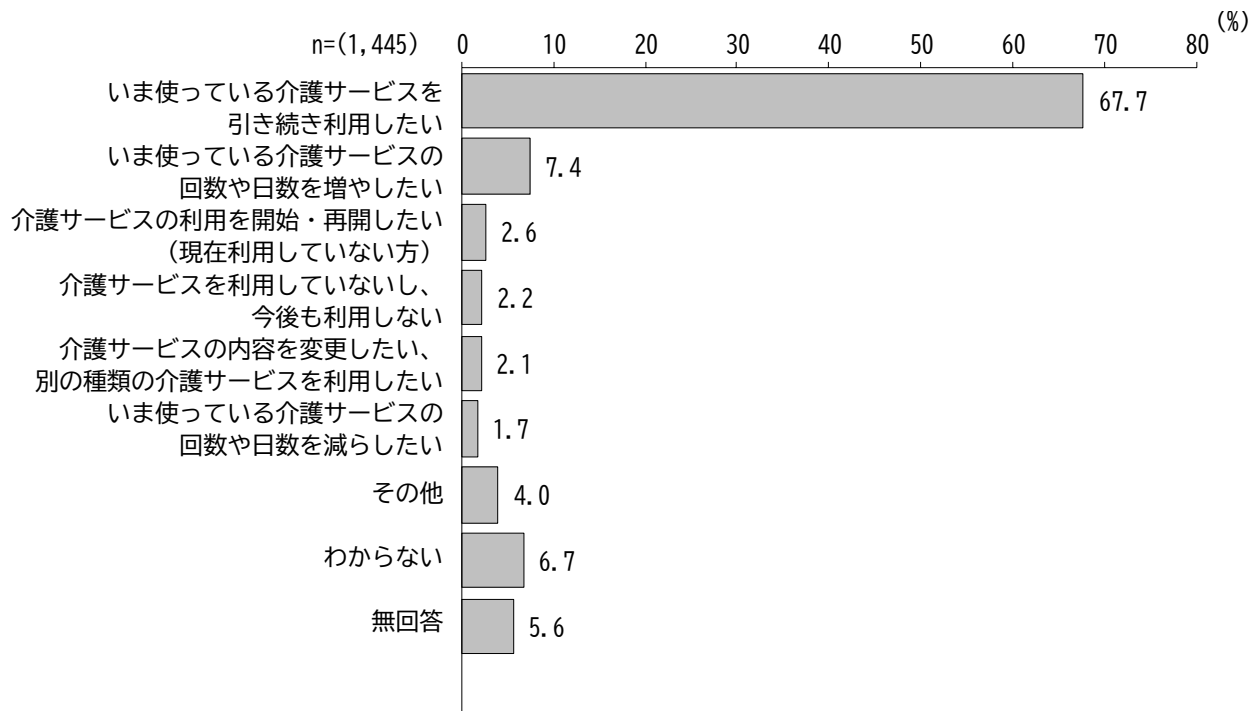


(5) 今後の介護サービスの利用についての考え

問10 今後の介護サービスの利用について、あなたの考えを教えてください。(○は1つ)

今後の介護サービスの利用についての考えは、「いま使っている介護サービスを引き続き利用したい」が67.7%で最も高く、次いで「いま使っている介護サービスの回数や日数を増やしたい」が7.4%、「介護サービスの利用を開始・再開したい」が2.6%となっている。

図表2-2-6 介護サービスの利用についての考え



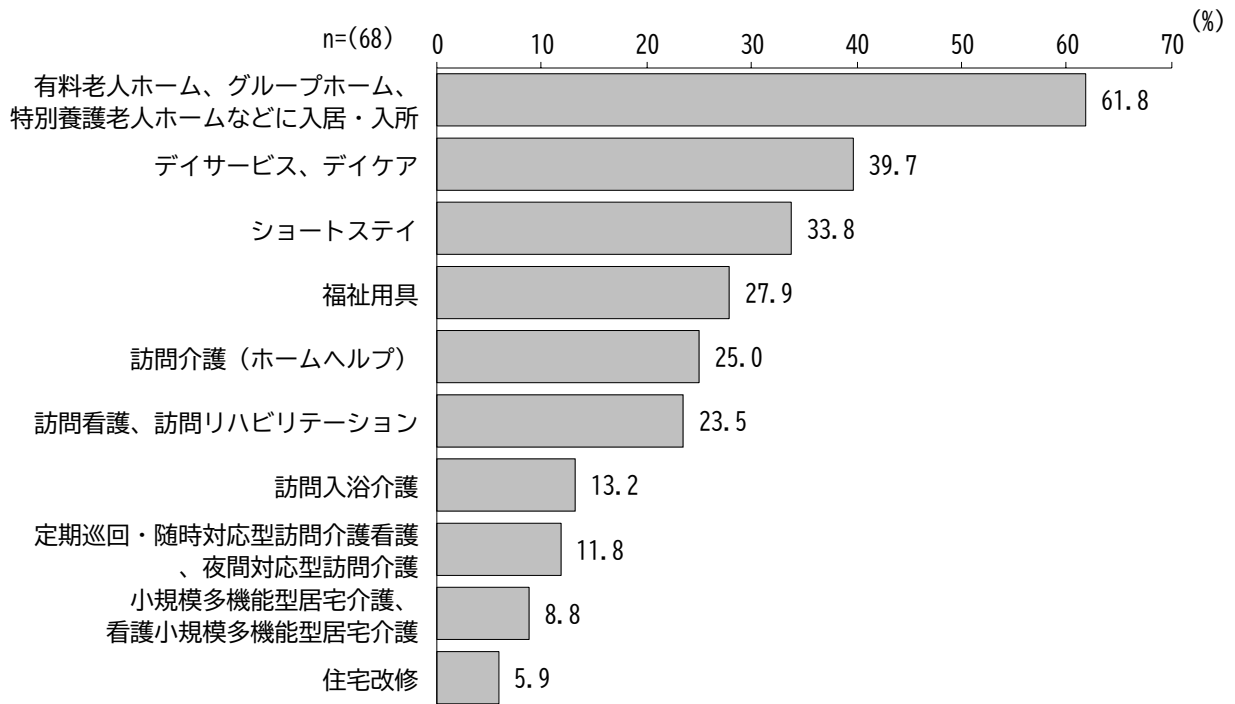
(6) 今後利用したいサービス

【問10で「4」「5」と回答した方におたずねします。】

問10-1 今後どのようなサービスを利用したいですか。(○はいくつでも)

今後利用したいサービスは、「有料老人ホーム、グループホーム、特別養護老人ホームなどに入居・入所」が61.8%で最も高く、次いで「デイサービス、デイケア」が39.7%、「ショートステイ」が33.8%となっている。

図表2-2-7 今後利用したいサービス（複数回答）



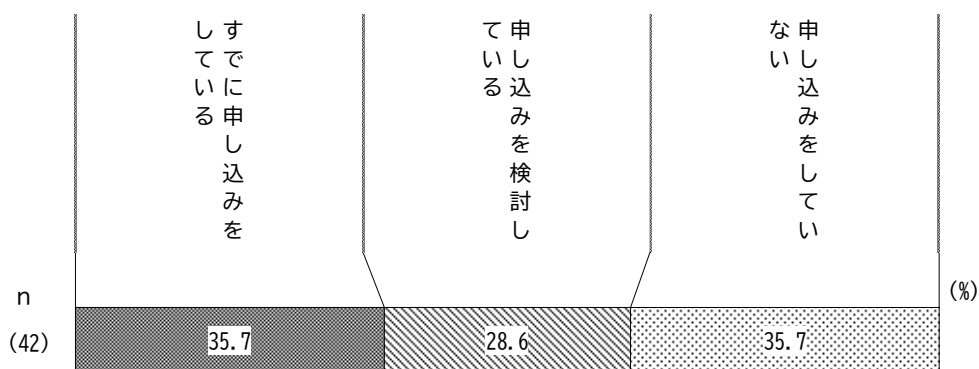
(7) 入居・入所の申込状況

【問10-1で「10」と回答した方におたずねします。】

問10-2 入居・入所の申し込みはしていますか。(○は1つ)

入居・入所の申込状況は、「すでに申し込みをしている」が35.7%で最も高く、次いで「申し込みをしていない」が35.7%、「申し込みを検討している」が28.6%となっている。

図表2-2-8 入居・入所の申込状況



第2章 要介護認定者調査

図表2-2-9 入居・入所の申込状況（利用している介護サービス別）

(上段:回答数、下段:%)

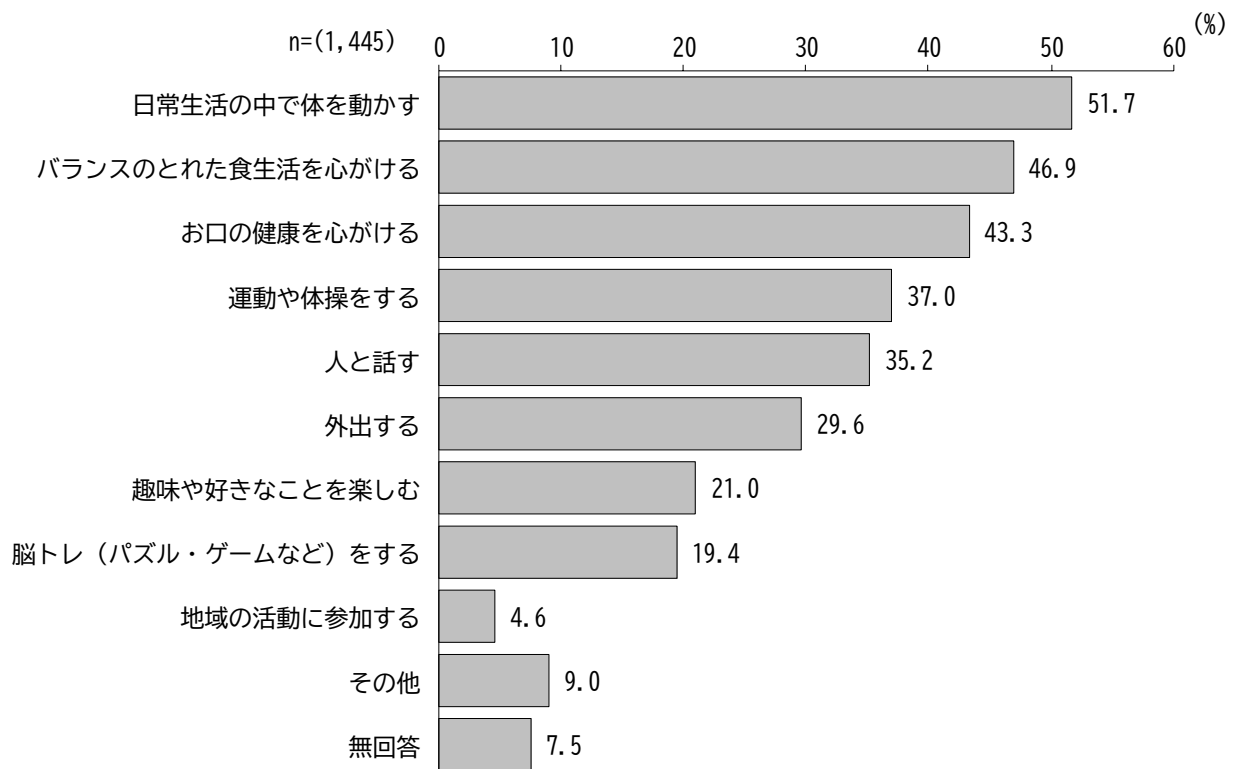
項目		調査数 (n)	しす	し申	申し
			てで いる に申 し込 みを	して いる 込 みを 検 討	込 み を し て い ない
全体		42 100.0	15 35.7	12 28.6	15 35.7
利用 して いる 介 護 サ ー ビ ス	デイサービス、デイケア	14 100.0	6 42.9	5 35.7	3 21.4
	ショートステイ	7 100.0	4 57.1	1 14.3	2 28.6
	訪問介護(ホームヘルプ)	7 100.0	2 28.6	3 42.9	2 28.6
	訪問入浴介護	3 100.0	1 33.3	1 33.3	1 33.3
	訪問看護、訪問リハビリテーション	5 100.0	1 20.0	1 20.0	3 60.0
	定期巡回・随時対応型訪問介護看護、 夜間対応型訪問介護	- -	- -	- -	- -
	小規模多機能型居宅介護、 看護小規模多機能型居宅介護	2 100.0	- -	2 100.0	- -
	福祉用具	16 100.0	9 56.3	4 25.0	3 18.8
	住宅改修	7 100.0	4 57.1	2 28.6	1 14.3
	有料老人ホーム、グループホーム、 特別養護老人ホームなどに入居・入所	2 100.0	2 100.0	- -	- -
	介護サービスは利用していない	15 100.0	4 26.7	3 20.0	8 53.3

## (8) 要介護状態の改善や重度化防止のために実践していること

問11 要介護状態の改善や重度化防止のために実践していることはありますか。(〇はいくつでも)

要介護状態の改善や重度化防止のために実践していることは、「日常生活の中で体を動かす」が51.7%で最も高く、次いで「バランスのとれた食生活を心がける」が46.9%、「お口の健康を心がける」が43.3%となっている。

図表2-2-10 要介護状態の改善や重度化防止のために実践していること（複数回答）



## 第2章 要介護認定者調査

要介護状態の改善や重度化防止のために実践していることを性別で見ると、「人と話す」（男性26.5%、女性39.5%）、「脳トレ（パズル・ゲームなど）をする」（男性15.9%、女性20.7%）で男女の回答割合に差がある。

年齢別にみると、「日常生活の中で体を動かす」は男性では75～79歳で60.8%、女性では75～79歳で61.8%となっている。

図表2-2-11 要介護状態の改善や重度化防止のために実践していること（性別・年齢別）

(上段:回答数,下段:%)

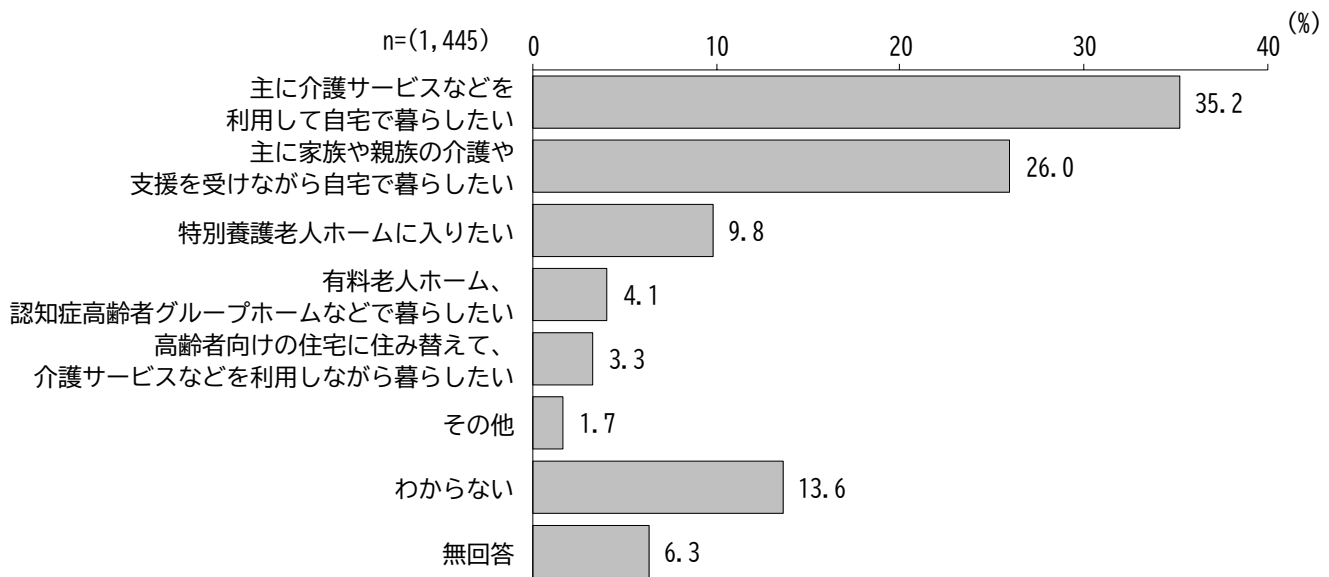
項目	調査数 (n)	日常生活の中で体を動かす	バランスのとれた食生活を心がける	お口の健康を心がける	運動や体操をする	人と話す	外出する	趣味や好きなことを楽しむ	脳トレ（パズル・ゲームなど）をする	地域の活動に参加する	その他	無回答
全体	1,445	747	678	626	534	509	428	304	280	67	130	108
	100.0	51.7	46.9	43.3	37.0	35.2	29.6	21.0	19.4	4.6	9.0	7.5
性別・年齢別												
男性全体	491	249	214	198	176	130	157	100	78	19	40	37
	100.0	50.7	43.6	40.3	35.8	26.5	32.0	20.4	15.9	3.9	8.1	7.5
男性 64歳以下	18	6	8	6	7	8	9	6	3	1	2	-
	100.0	33.3	44.4	33.3	38.9	44.4	50.0	33.3	16.7	5.6	11.1	-
男性 65～69歳	22	12	9	12	12	6	11	3	4	1	2	1
	100.0	54.5	40.9	54.5	54.5	27.3	50.0	13.6	18.2	4.5	9.1	4.5
男性 70～74歳	39	18	13	11	16	8	14	11	5	1	1	3
	100.0	46.2	33.3	28.2	41.0	20.5	35.9	28.2	12.8	2.6	2.6	7.7
男性 75～79歳	79	48	36	32	34	20	33	17	13	5	4	7
	100.0	60.8	45.6	40.5	43.0	25.3	41.8	21.5	16.5	6.3	5.1	8.9
男性 80～84歳	103	52	47	45	41	30	38	20	22	4	8	9
	100.0	50.5	45.6	43.7	39.8	29.1	36.9	19.4	21.4	3.9	7.8	8.7
男性 85～89歳	108	55	49	49	36	25	33	24	17	3	12	5
	100.0	50.9	45.4	45.4	33.3	23.1	30.6	22.2	15.7	2.8	11.1	4.6
男性 90歳以上	122	58	52	43	30	33	19	19	14	4	11	12
	100.0	47.5	42.6	35.2	24.6	27.0	15.6	15.6	11.5	3.3	9.0	9.8
女性全体	928	487	451	413	346	367	260	198	192	46	88	67
	100.0	52.5	48.6	44.5	37.3	39.5	28.0	21.3	20.7	5.0	9.5	7.2
女性 64歳以下	11	8	7	7	6	7	2	5	1	1	2	-
	100.0	72.7	63.6	63.6	54.5	63.6	18.2	45.5	9.1	9.1	18.2	-
女性 65～69歳	20	8	5	5	7	1	7	5	4	1	3	1
	100.0	40.0	25.0	25.0	35.0	5.0	35.0	25.0	20.0	5.0	15.0	5.0
女性 70～74歳	37	22	20	16	15	9	15	10	11	1	2	2
	100.0	59.5	54.1	43.2	40.5	24.3	40.5	27.0	29.7	2.7	5.4	5.4
女性 75～79歳	102	63	49	46	39	37	43	21	23	3	7	6
	100.0	61.8	48.0	45.1	38.2	36.3	42.2	20.6	22.5	2.9	6.9	5.9
女性 80～84歳	166	94	77	78	65	68	60	32	35	17	15	14
	100.0	56.6	46.4	47.0	39.2	41.0	36.1	19.3	21.1	10.2	9.0	8.4
女性 85～89歳	263	136	131	112	109	125	67	57	50	11	25	13
	100.0	51.7	49.8	42.6	41.4	47.5	25.5	21.7	19.0	4.2	9.5	4.9
女性 90歳以上	329	156	162	149	105	120	66	68	68	12	34	31
	100.0	47.4	49.2	45.3	31.9	36.5	20.1	20.7	20.7	3.6	10.3	9.4
無回答	26	11	13	15	12	12	11	6	10	2	2	4
	100.0	42.3	50.0	57.7	46.2	46.2	42.3	23.1	38.5	7.7	7.7	15.4

## (9) 今後の暮らし方

問12 今後要介護度が重くなった場合、あなたはどのような暮らし方をしたいと思いますか。(〇は1つ)

要介護度が重くなった場合に希望する今後の暮らし方は、「主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい」が35.2%で最も高く、次いで「主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい」が26.0%、「特別養護老人ホームに入りたい」が9.8%となっている。

図表2-2-12 今後の暮らし方



第2章 要介護認定者調査

要介護度が重くなった場合に希望する今後の暮らし方を性別で見ると、大きな差はみられない。

図表2-2-13 今後の暮らし方（性別・年齢別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	受主に家族や親族の介護や支援を 受けながら自宅暮らししたい	主に自宅で暮らしたいサービスなどを利用し て自宅介護サービスなどを利用し	ながら介護サービスの住宅に住み替えし て、介護サービスの住宅に住み替えし	高齢者向けの住宅に住み替えした いグループホームなど、認知症高齢者 有料老人ホームなど、認知症高齢者	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答	
全体	1,445 100.0	376 26.0	509 35.2	48 3.3	59 4.1	141 9.8	25 1.7	196 13.6	91 6.3	
性別・年齢別	男性全体	491 100.0	128 26.1	185 37.7	14 2.9	19 3.9	36 7.3	3 0.6	72 14.7	34 6.9
	男性 64歳以下	18 100.0	4 22.2	9 50.0	- -	- -	- -	1 5.6	4 22.2	- -
	男性 65~69歳	22 100.0	6 27.3	9 40.9	1 4.5	1 4.5	1 4.5	- -	4 18.2	- -
	男性 70~74歳	39 100.0	10 25.6	16 41.0	1 2.6	- -	3 7.7	- -	6 15.4	3 7.7
	男性 75~79歳	79 100.0	19 24.1	31 39.2	2 2.5	2 2.5	4 5.1	1 1.3	13 16.5	7 8.9
	男性 80~84歳	103 100.0	25 24.3	36 35.0	3 2.9	5 4.9	7 6.8	1 1.0	19 18.4	7 6.8
	男性 85~89歳	108 100.0	25 23.1	43 39.8	3 2.8	6 5.6	9 8.3	- -	14 13.0	8 7.4
	男性 90歳以上	122 100.0	39 32.0	41 33.6	4 3.3	5 4.1	12 9.8	- -	12 9.8	9 7.4
	女性全体	928 100.0	241 26.0	314 33.8	34 3.7	40 4.3	102 11.0	20 2.2	123 13.3	54 5.8
	女性 64歳以下	11 100.0	5 45.5	1 9.1	- -	1 9.1	- -	2 18.2	1 9.1	1 9.1
	女性 65~69歳	20 100.0	7 35.0	8 40.0	- -	- -	1 5.0	- -	4 20.0	- -
	女性 70~74歳	37 100.0	8 21.6	15 40.5	4 10.8	2 5.4	4 10.8	1 2.7	2 5.4	1 2.7
	女性 75~79歳	102 100.0	23 22.5	40 39.2	10 9.8	4 3.9	4 3.9	2 2.0	14 13.7	5 4.9
	女性 80~84歳	166 100.0	35 21.1	60 36.1	6 3.6	10 6.0	15 9.0	1 0.6	26 15.7	13 7.8
	女性 85~89歳	263 100.0	63 24.0	96 36.5	9 3.4	9 3.4	32 12.2	4 1.5	34 12.9	16 6.1
	女性 90歳以上	329 100.0	100 30.4	94 28.6	5 1.5	14 4.3	46 14.0	10 3.0	42 12.8	18 5.5
	無回答	26 100.0	7 26.9	10 38.5	- -	- -	3 11.5	2 7.7	1 3.8	3 11.5

要介護度が重くなった場合に希望する今後の暮らし方を家族構成別にみると、「主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい」は「息子・娘と同居（息子・娘は65歳以上）」で38.5%、「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）」で35.2%となっており、「主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい」は「ひとり暮らし」で41.7%、「夫婦のみ（配偶者は65歳以上）」で39.1%となっている。

要介護度別にみると、「要介護4」以外の区分で「主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい」が最も高く、「要介護1」で37.9%となっている。

図表2-2-14 今後の暮らし方（家族構成別・要介護度別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数(n)	(上段:回答数、下段:%)								
		主に家族や親族の介護や支援を受けながら自宅で暮らしたい	主に介護サービスなどを利用して自宅で暮らしたい	高齢者向けの住宅に住み替えて、介護サービスなどを利用しながら暮らしたい	有料老人ホームなどで暮らしたい	特別養護老人ホームに入りたい	その他	わからない	無回答	
全体	1,445 100.0	376 26.0	509 35.2	48 3.3	59 4.1	141 9.8	25 1.7	196 13.6	91 6.3	
家族構成	ひとり暮らし	398 100.0	55 13.8	166 41.7	26 6.5	21 5.3	41 10.3	8 2.0	57 14.3	24 6.0
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	366 100.0	95 26.0	143 39.1	14 3.8	12 3.3	24 6.6	5 1.4	43 11.7	30 8.2
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	19 100.0	8 42.1	4 21.1	- -	2 10.5	1 5.3	- -	3 15.8	1 5.3
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	122 100.0	47 38.5	31 25.4	2 1.6	2 1.6	17 13.9	1 0.8	15 12.3	7 5.7
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	381 100.0	134 35.2	116 30.4	4 1.0	15 3.9	36 9.4	3 0.8	56 14.7	17 4.5
	その他	113 100.0	29 25.7	34 30.1	- -	6 5.3	18 15.9	4 3.5	16 14.2	6 5.3
	要介護度	要介護1	567 100.0	138 24.3	215 37.9	22 3.9	26 4.6	37 6.5	6 1.1	85 15.0
要介護2		440 100.0	125 28.4	163 37.0	16 3.6	10 2.3	37 8.4	4 0.9	55 12.5	30 6.8
要介護3		186 100.0	47 25.3	61 32.8	3 1.6	12 6.5	29 15.6	3 1.6	20 10.8	11 5.9
要介護4		142 100.0	38 26.8	37 26.1	2 1.4	6 4.2	28 19.7	2 1.4	22 15.5	7 4.9
要介護5		110 100.0	28 25.5	33 30.0	5 4.5	5 4.5	10 9.1	10 9.1	14 12.7	5 4.5

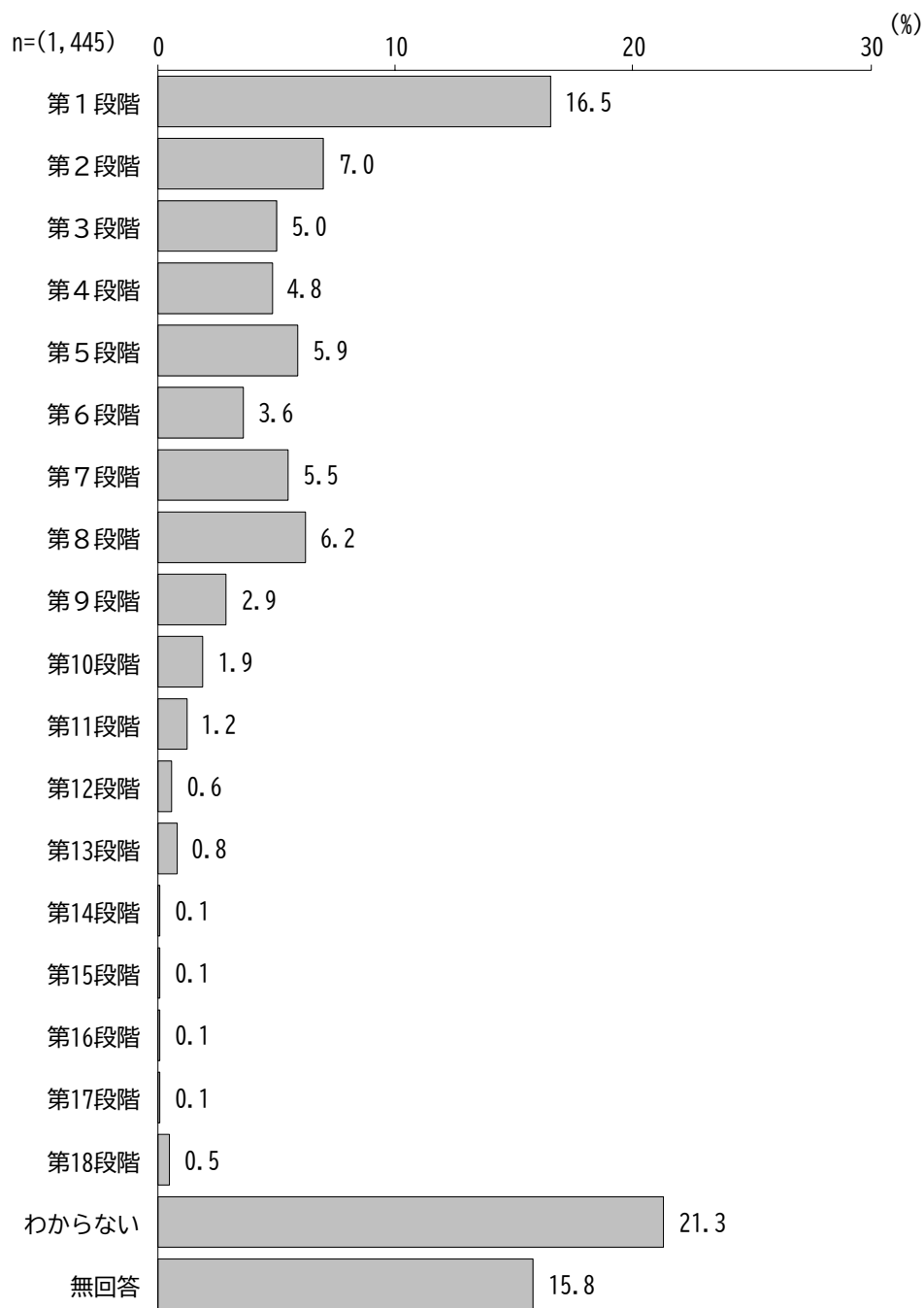
### 3. 介護保険制度や保険料、利用料について

#### (1) 介護保険料の所得段階

問13 あなたの現在の介護保険料の所得段階は、どれに該当しますか。(〇は1つ)

現在の介護保険料の所得段階は、段階で見ると、「第1段階」が16.5%と最も高くなっており、次いで「第2段階」が7.0%、「第8段階」が6.2%となっている。また、「わからない」が21.3%となっている。

図表2-3-1 現在の介護保険料の所得段階

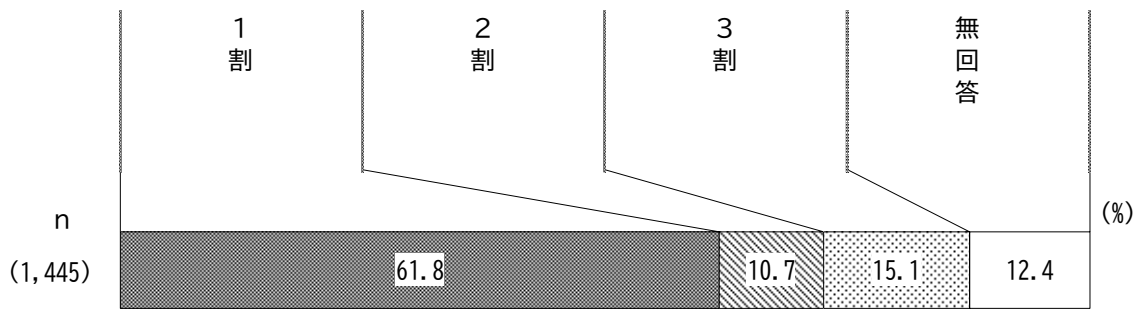


(2) 介護サービスの利用者負担割合

問14 あなたの介護サービスの利用者負担割合は、どれに該当しますか。(○は1つ)

介護サービスの利用者負担割合は、「1割」が61.8%で最も高く、次いで「3割」が15.1%、「2割」が10.7%、となっている。

図表2-3-2 介護サービスの利用者負担割合

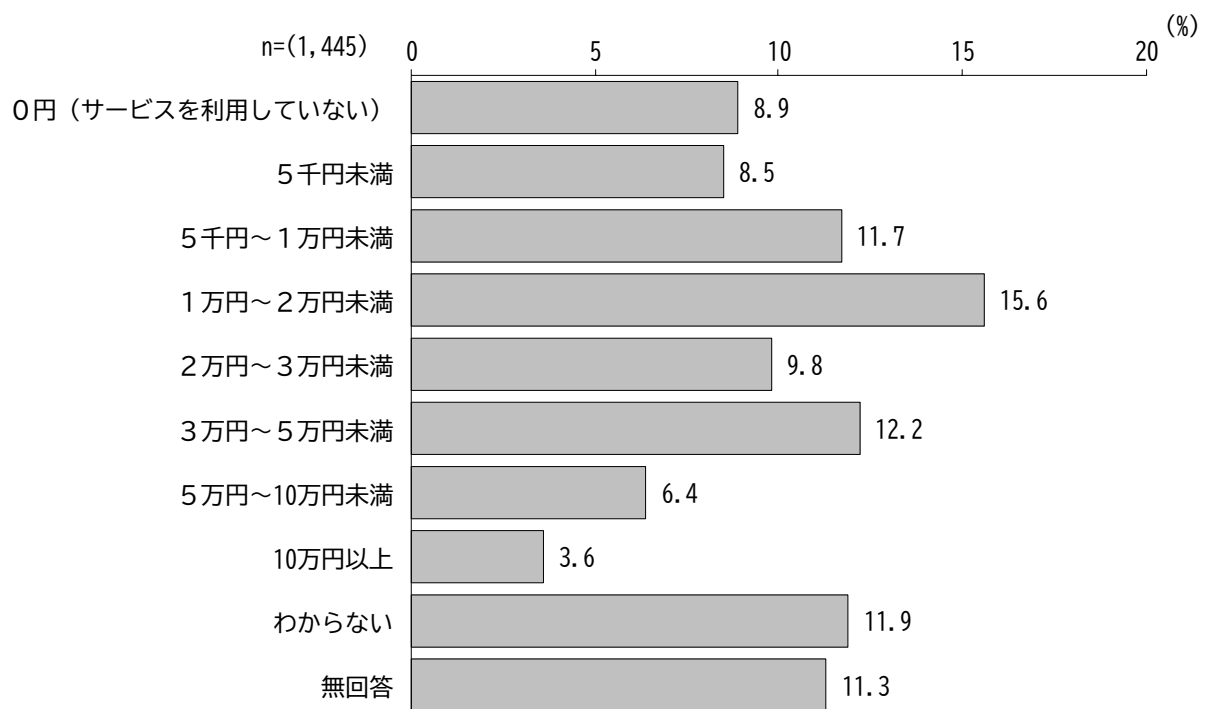


(3) 1か月の介護サービスの利用料

問15 あなたの1か月の介護サービスの利用料はいくらでしたか。(○は1つ)

1か月の介護サービスの利用料は、「1万円～2万円未満」が15.6%で最も高く、次いで「3万円～5万円未満」が12.2%、「5千円～1万円未満」が11.7%となっている。

図表2-3-3 1か月の介護サービスの利用料



## 第2章 要介護認定者調査

1か月の介護サービスの利用料を要介護度別にみると、「3万円～5万円未満」は「要介護5」で20.9%と最も高くなっている。

図表2-3-4 1か月の介護サービスの利用料（要介護度別）

(上段:回答数、下段:%)

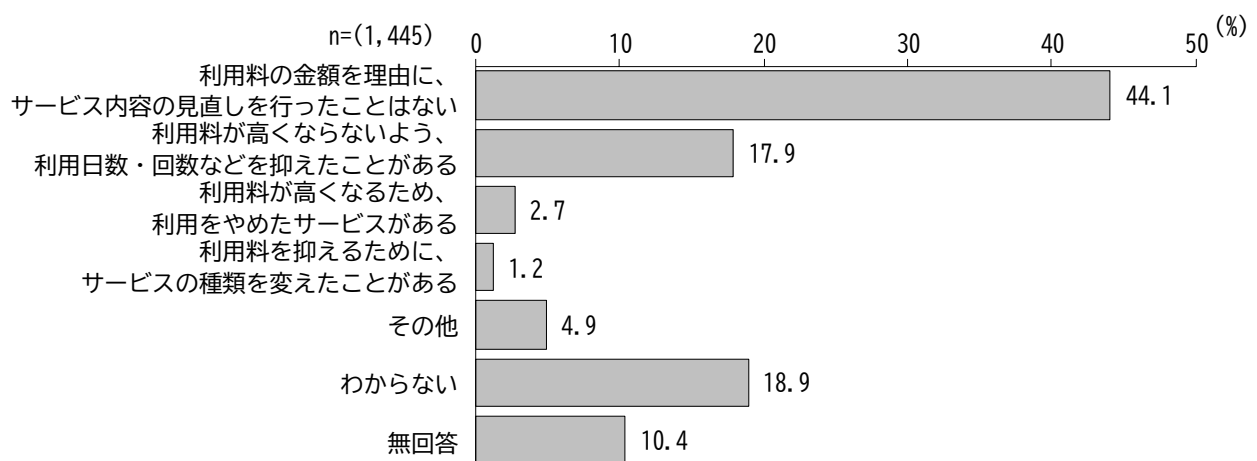
項目	調査数(n)	0円(サービスを利用していない)	5千円未満	5千円～1万円未満	1万円～2万円未満	2万円～3万円未満	3万円～5万円未満	5万円～10万円未満	10万円以上	わからない	無回答	
全体	1,445	129	123	169	225	142	177	92	52	172	164	
	100.0	8.9	8.5	11.7	15.6	9.8	12.2	6.4	3.6	11.9	11.3	
要介護度	要介護1	567	70	64	96	98	46	39	7	6	65	76
		100.0	12.3	11.3	16.9	17.3	8.1	6.9	1.2	1.1	11.5	13.4
	要介護2	440	25	40	57	73	54	62	24	10	45	50
		100.0	5.7	9.1	13.0	16.6	12.3	14.1	5.5	2.3	10.2	11.4
	要介護3	186	11	10	6	33	23	29	23	11	23	17
	100.0	5.9	5.4	3.2	17.7	12.4	15.6	12.4	5.9	12.4	9.1	
要介護4	142	10	6	9	14	15	24	16	11	26	11	
	100.0	7.0	4.2	6.3	9.9	10.6	16.9	11.3	7.7	18.3	7.7	
要介護5	110	13	3	1	7	4	23	22	14	13	10	
	100.0	11.8	2.7	0.9	6.4	3.6	20.9	20.0	12.7	11.8	9.1	

### (4) 利用料の金額がサービス利用に与える影響

問16 あなたは、介護サービスの利用内容や回数を決めるときに、利用料の金額を考慮したことはありますか。(○は1つ)

利用料の金額がサービス利用に与える影響は、「利用料の金額を理由に、サービス内容の見直しを行ったことはない」が44.1%で最も高く、「利用料が高くなならないよう、利用日数・回数などを抑えたことがある」が17.9%、「利用料が高くなるため、利用をやめたサービスがある」が2.7%となっている。

図表2-3-5 利用料の金額がサービス利用に与える影響



利用料の金額がサービス利用に与える影響を利用者負担割合別にみると、「利用料の金額を理由に、サービス内容の見直しを行ったことはない」がすべての負担割合で4割を超えており、「3割負担」では54.1%となっている。「利用料が高くなならないよう、利用日数・回数などを抑えたことがある」は負担割合が少ないほど高くなっており、「1割負担」で21.4%となっている。

1か月の介護サービス利用料別にみると、「0円（サービスを利用していない）」、「5万円～10万円未満」、「わからない」を除く各区分で「利用料の金額を理由に、サービスの内容の見直しを行ったことはない」が最も高く、「1万円～2万円未満」で63.1%となっている。

図表2-3-6 利用料の金額がサービス利用に与える影響

(利用者負担割合別・1か月の介護サービス利用料別)

(上段:回答数、下段:%)

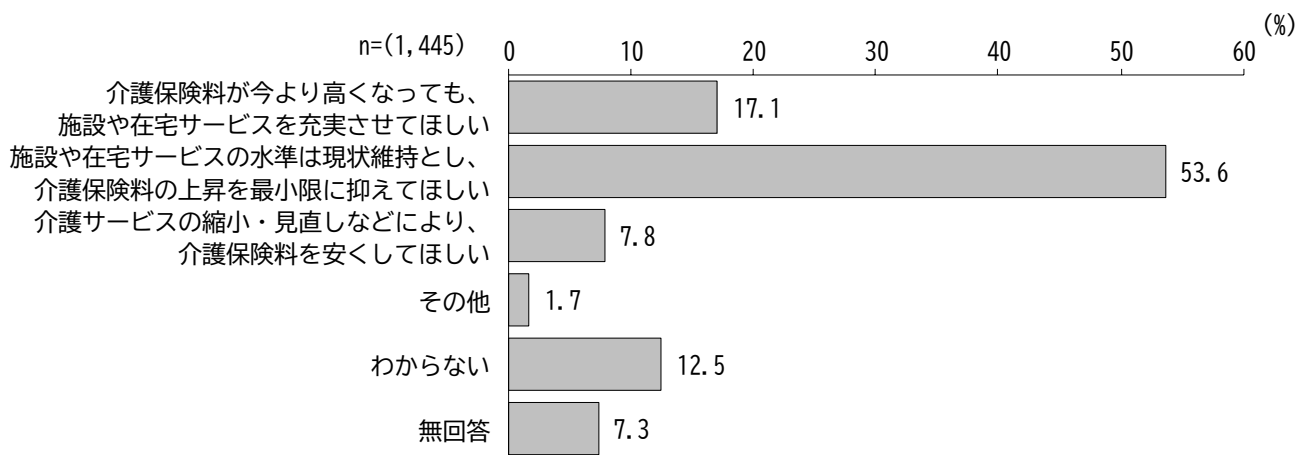
項目	調査数 (n)	た	こ	を	が	そ	わ	無	
		サ リ 用 料 の 金 額 を 理 由 に 行 っ た こ と は な い	と 用 料 が 日 数 が 高 く 回 数 な ら な い を 抑 え た こ と は な い	利 用 料 が 高 く な ら な い よ う に 利 用 日 数 ・ 回 数 な ど を 抑 え た こ と は な い	の サ リ 用 料 の 金 額 を 理 由 に サ ー ビ ス の 内 容 の 見 直 し を 行 っ た こ と は な い	の サ ー ビ ス の 内 容 の 見 直 し を 行 っ た こ と は な い	の 他	か ら な い	回 答
全体	1,445	637	258	39	17	71	273	150	
	100.0	44.1	17.9	2.7	1.2	4.9	18.9	10.4	
利用者負担割合	1割	893	418	191	30	11	47	160	36
		100.0	46.8	21.4	3.4	1.2	5.3	17.9	4.0
	2割	155	70	31	2	3	6	34	9
	100.0	45.2	20.0	1.3	1.9	3.9	21.9	5.8	
	218	118	28	7	3	12	40	10	
	100.0	54.1	12.8	3.2	1.4	5.5	18.3	4.6	
1か月の介護サービス利用料	0円(サービスを利用していない)	129	18	6	3	-	23	67	12
		100.0	14.0	4.7	2.3	-	17.8	51.9	9.3
	5千円未満	123	66	22	2	2	4	22	5
		100.0	53.7	17.9	1.6	1.6	3.3	17.9	4.1
	5千円～1万円未満	169	96	38	7	1	8	16	3
		100.0	56.8	22.5	4.1	0.6	4.7	9.5	1.8
	1万円～2万円未満	225	142	33	7	4	7	26	6
		100.0	63.1	14.7	3.1	1.8	3.1	11.6	2.7
	2万円～3万円未満	142	79	28	3	4	6	17	5
	100.0	55.6	19.7	2.1	2.8	4.2	12.0	3.5	
3万円～5万円未満	177	93	51	8	2	5	14	4	
	100.0	52.5	28.8	4.5	1.1	2.8	7.9	2.3	
5万円～10万円未満	92	33	39	3	3	3	9	2	
	100.0	35.9	42.4	3.3	3.3	3.3	9.8	2.2	
10万円以上	52	23	15	3	-	4	5	2	
	100.0	44.2	28.8	5.8	-	7.7	9.6	3.8	
わからない	172	58	16	2	1	9	83	3	
	100.0	33.7	9.3	1.2	0.6	5.2	48.3	1.7	

(5) 介護サービスと介護保険料の関係についての考え

問17 今後、高齢化が進み介護サービスを利用する方が多くなると介護保険料が高くなることが想定されますが、介護サービスと介護保険料の関係について、あなたの考えに近いものはどれですか。(○は1つ)

介護サービスと介護保険料の関係についての考えは、「施設や在宅サービスの水準は現状維持とし、介護保険料の上昇を最小限に抑えてほしい」が53.6%で最も高く、次いで「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」が17.1%、「介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい」が7.8%となっている。

図表2-3-7 介護サービスと介護保険料の関係についての考え



介護サービスと介護保険料の関係についての考えを暮らし向き別にみると、「施設や在宅サービスの水準は現状維持とし、介護保険料の上昇を最小限に抑えてほしい」は「大変ゆとりがある」以外の暮らし向きで4割以上となっており、「やや苦しい」で60.8%と高くなっている。「介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスを充実させてほしい」は「大変ゆとりがある」で58.1%となっている。

図表2-3-8 介護サービスと介護保険料の関係についての考え（暮らし向き別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	施設や在宅サービスが今より高くなっても、施設や在宅サービスの水準を最小限に維持してほしい	施設や在宅サービスの水準は現状維持	介護サービスの縮小・見直しなどにより、介護保険料を安くしてほしい	その他	わからない	無回答	
全体	1,445 100.0	247 17.1	774 53.6	113 7.8	25 1.7	181 12.5	105 7.3	
暮らし向き	大変苦しい	117 100.0	3 2.6	63 53.8	21 17.9	4 3.4	19 16.2	7 6.0
	やや苦しい	293 100.0	21 7.2	178 60.8	28 9.6	7 2.4	38 13.0	21 7.2
	ふつう	834 100.0	159 19.1	446 53.5	60 7.2	10 1.2	98 11.8	61 7.3
	ややゆとりがある	144 100.0	43 29.9	69 47.9	4 2.8	3 2.1	18 12.5	7 4.9
	大変ゆとりがある	31 100.0	18 58.1	6 19.4	-	1 3.2	5 16.1	1 3.2

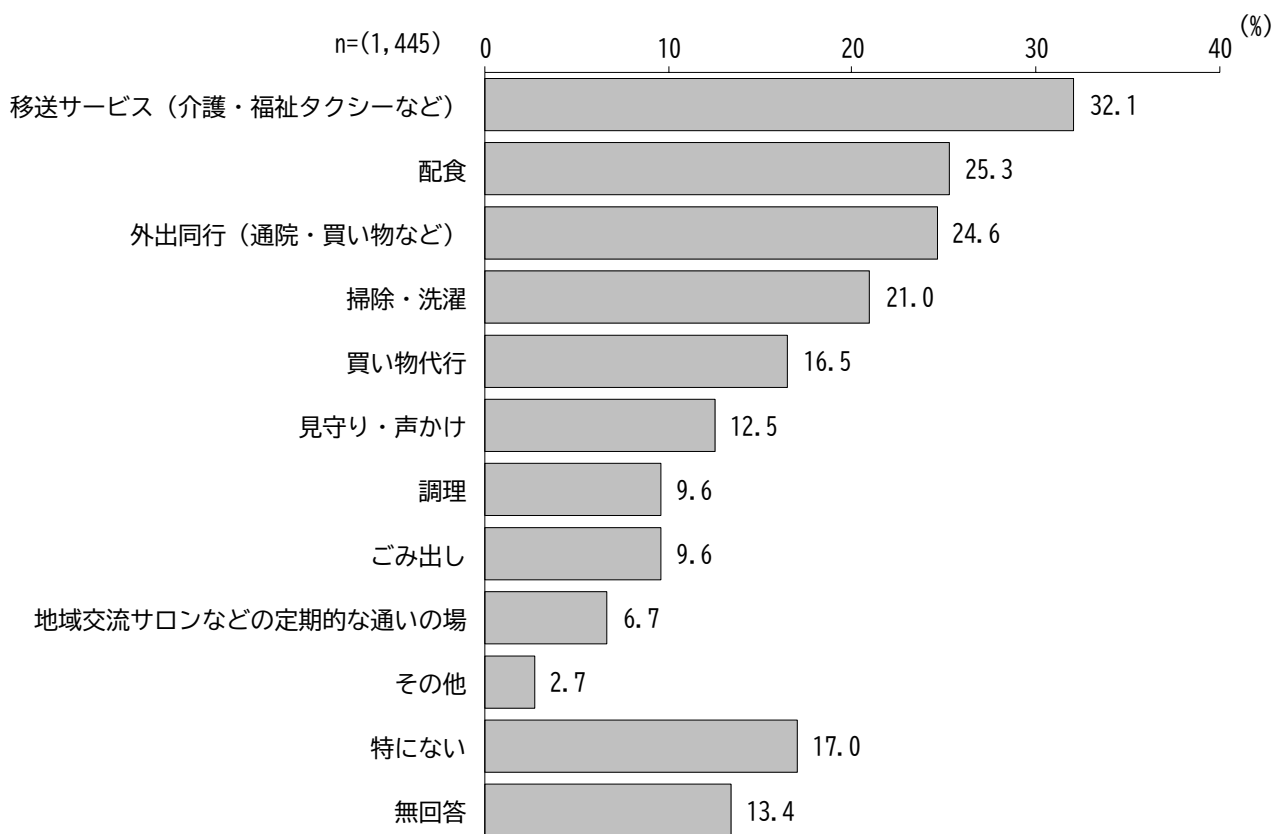
## 4. 介護保険以外の高齢者在宅サービスなどについて

### (1) 自宅での生活を続けるために介護サービス以外に必要な支援

問18 あなたは、自宅での生活を続けるためには、介護サービス以外に主にどのような支援やサービスが必要だと思いますか。(〇は3つまで)

介護サービス以外に必要な支援は、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が32.1%で最も高く、次いで「配食」が25.3%、「外出同行（通院・買い物など）」が24.6%となっている。

図表2-4-1 介護サービス以外に必要な支援やサービス（複数回答）



介護サービス以外に必要な支援を家族構成別にみると、「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」は「ひとり暮らし」以外の家族構成で3割以上となっている。

要介護度別にみると、すべての介護度で「移送サービス（介護・福祉タクシーなど）」が最も高くなっており、「要介護5」では38.2%となっている。

図表2-4-2 介護サービス以外に必要な支援（家族構成別・要介護度別）

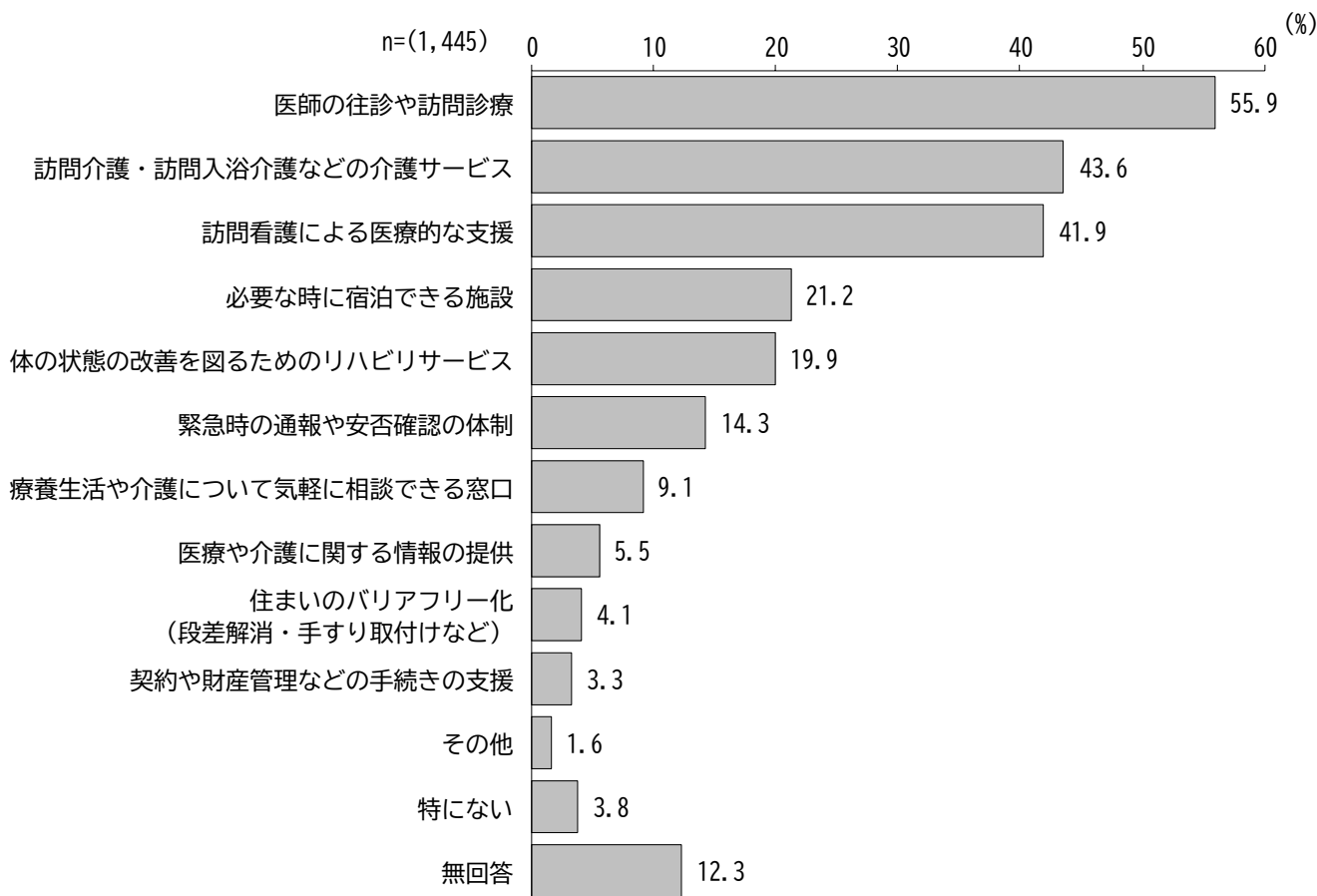
項目	調査数 (n)	(上段:回答数, 下段:%)												
		移送サービス (介護・福祉タク シーなど)	配食	外出同行 (通院・買い物など)	掃除・洗濯	買い物代行	見守り・声かけ	調理	ごみ出し	定期的な通いの場 地域交流サロンなどの	その他	特 に な い	無 回 答	
全体	1,445	464 32.1	365 25.3	355 24.6	303 21.0	239 16.5	180 12.5	138 9.6	138 9.6	97 6.7	39 2.7	246 17.0	193 13.4	
家族 構 成	ひとり暮らし	398 100.0	117 29.4	113 28.4	94 23.6	77 19.3	85 21.4	68 17.1	34 8.5	55 13.8	25 6.3	14 3.5	50 12.6	51 12.8
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	366 100.0	115 31.4	89 24.3	75 20.5	88 24.0	70 19.1	32 8.7	41 11.2	35 9.6	22 6.0	8 2.2	62 16.9	55 15.0
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	19 100.0	7 36.8	5 26.3	8 42.1	3 15.8	2 10.5	5 26.3	3 15.8	- -	2 10.5	- -	3 15.8	2 10.5
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	122 100.0	46 37.7	33 27.0	25 20.5	25 20.5	14 11.5	15 12.3	11 9.0	6 4.9	9 7.4	1 0.8	25 20.5	16 13.1
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	381 100.0	132 34.6	96 25.2	106 27.8	83 21.8	45 11.8	44 11.5	35 9.2	33 8.7	33 8.7	10 2.6	78 20.5	39 10.2
	その他	113 100.0	38 33.6	22 19.5	37 32.7	21 18.6	20 17.7	11 9.7	11 9.7	8 7.1	2 1.8	5 4.4	19 16.8	15 13.3
要 介 護 度	要介護1	567 100.0	158 27.9	134 23.6	143 25.2	111 19.6	115 20.3	71 12.5	50 8.8	51 9.0	51 9.0	12 2.1	95 16.8	82 14.5
	要介護2	440 100.0	152 34.5	117 26.6	112 25.5	99 22.5	64 14.5	54 12.3	43 9.8	48 10.9	27 6.1	10 2.3	75 17.0	49 11.1
	要介護3	186 100.0	67 36.0	48 25.8	49 26.3	45 24.2	35 18.8	26 14.0	24 12.9	23 12.4	7 3.8	6 3.2	25 13.4	25 13.4
	要介護4	142 100.0	45 31.7	41 28.9	28 19.7	23 16.2	20 14.1	16 11.3	15 10.6	9 6.3	8 5.6	3 2.1	30 21.1	22 15.5
	要介護5	110 100.0	42 38.2	25 22.7	23 20.9	25 22.7	5 4.5	13 11.8	6 5.5	7 6.4	4 3.6	8 7.3	21 19.1	15 13.6

(2) 在宅生活を続けるために必要なこと

問19 あなたは、要介護度が重くなったり病気の後遺症などにより長期間の療養が必要になったときに、自宅で生活を続けるためには、主にどのようなサービスや体制が必要だと思いますか。(〇は3つまで)

在宅生活を続けるために必要なことは、「医師の往診や訪問診療」が55.9%で最も高く、次いで「訪問介護・訪問入浴介護などの介護サービス」が43.6%、「訪問看護による医療的な支援」が41.9%となっている。

図表2-4-3 在宅生活を続けるために必要なこと（複数回答）

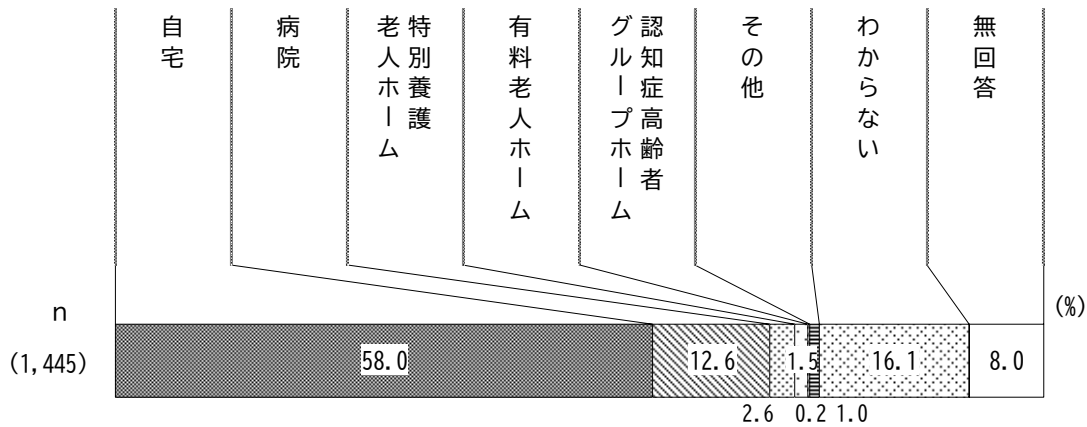


(3) 人生の最期を迎えたい場所

問20 あなたは、人生の最期をどこで迎えたいと思いますか。(〇は1つ)

人生の最期を迎えたい場所は、「自宅」が58.0%で最も高く、次いで「病院」が12.6%、「特別養護老人ホーム」が2.6%となっている。また、「わからない」が16.1%となっている。

図表2-4-4 人生の最期を迎えたい場所



人生の最期を迎えたい場所を家族構成別にみると、「自宅」はすべての家族構成で最も高くなっており、「夫婦のみ（配偶者は64歳以下）」では68.4%となっている。

図表2-4-5 人生の最期を迎えたい場所（家族構成別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	自宅	病院	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	グループホーム	認知症高齢者	その他	わからない	無回答
全体	1,445	838	182	38	22	3	14	233	115	
	100.0	58.0	12.6	2.6	1.5	0.2	1.0	16.1	8.0	
家族構成	ひとり暮らし	398	211	58	8	8	-	5	78	30
		100.0	53.0	14.6	2.0	2.0	-	1.3	19.6	7.5
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	366	222	54	9	4	2	4	43	28
		100.0	60.7	14.8	2.5	1.1	0.5	1.1	11.7	7.7
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	19	13	-	-	-	-	-	4	2
		100.0	68.4	-	-	-	-	-	21.1	10.5
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	122	73	16	5	1	-	-	19	8
	100.0	59.8	13.1	4.1	0.8	-	-	15.6	6.6	
息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	381	241	35	9	5	-	2	58	31	
	100.0	63.3	9.2	2.4	1.3	-	0.5	15.2	8.1	
その他	113	59	14	5	3	-	2	22	8	
	100.0	52.2	12.4	4.4	2.7	-	1.8	19.5	7.1	

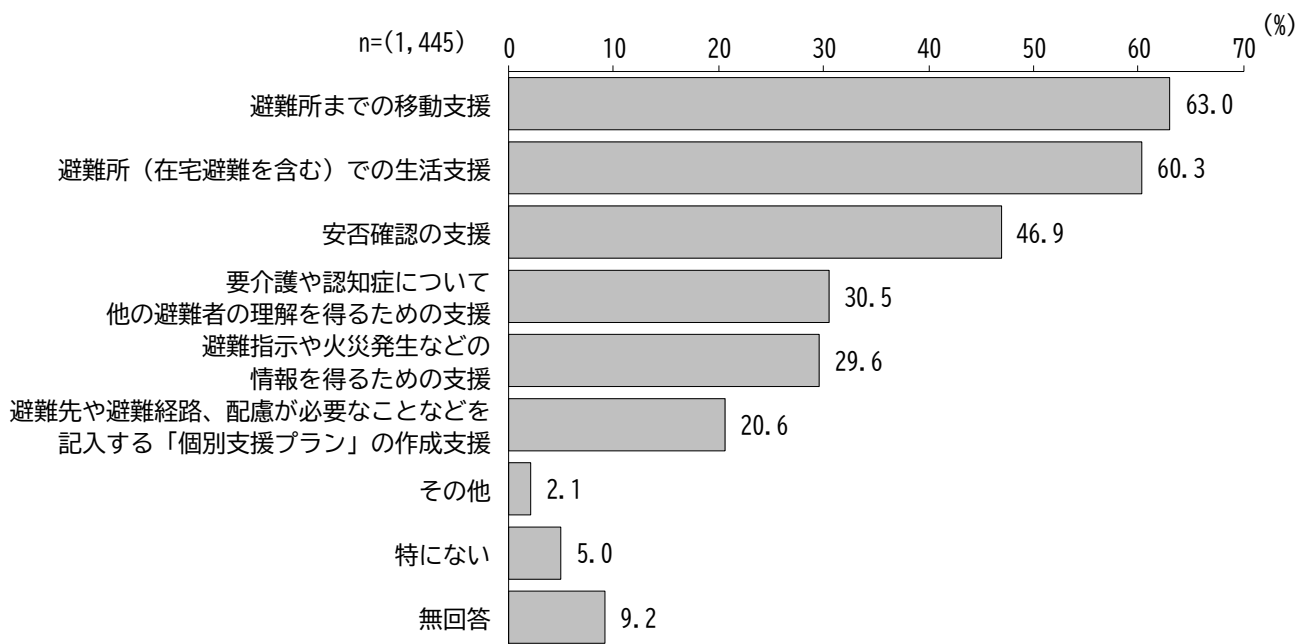
## 5. 災害時の対策について

### (1) 災害発生時や事前の備えに必要な支援

問21 災害や（地震、風水害など）が発生した時や事前の備えに、どのような支援が必要だと思いますか。（〇はいくつでも）

災害発生時や事前の備えに必要な支援は、「避難所までの移動支援」が63.0%で最も高く、次いで「避難所（在宅避難を含む）での生活支援」が60.3%、「安否確認の支援」が46.9%となっている。

図表2-5-1 災害発生時や事前の備えに必要な支援（複数回答）



災害発生時や事前の備えに必要な支援を家族構成別にみると、「避難所までの移動支援」は「息子・娘と同居（息子・娘は64歳以下）が65.6%となっている。「避難所（在宅避難含む）での生活支援」は「息子・娘と同居（息子・娘は65歳以上）で63.1%となっている。

図表2-5-2 災害発生時や事前の備えに必要な支援（家族構成別）

(上段:回答数、下段:%)

項目	調査数 (n)	避難所までの移動支援	避難所（在宅避難を含む）での生活支援	安否確認の支援	要介護や認知症に関する他の避難者の理解を得るための支援	避難指示や火災発生などの情報を得るための支援	避難先や避難経路、配慮が必要なことを記入する「個別支援プラン」の作成支援	その他	特になし	無回答	
全体	1,445 100.0	911 63.0	871 60.3	677 46.9	441 30.5	428 29.6	298 20.6	30 2.1	72 5.0	133 9.2	
家族構成	ひとり暮らし	398 100.0	245 61.6	221 55.5	217 54.5	99 24.9	124 31.2	81 20.4	7 1.8	22 5.5	38 9.5
	夫婦のみ (配偶者は65歳以上)	366 100.0	234 63.9	222 60.7	175 47.8	113 30.9	108 29.5	81 22.1	11 3.0	11 3.0	28 7.7
	夫婦のみ (配偶者は64歳以下)	19 100.0	12 63.2	15 78.9	6 31.6	4 21.1	2 10.5	5 26.3	-	-	2 10.5
	息子・娘と同居 (息子・娘は65歳以上)	122 100.0	71 58.2	77 63.1	40 32.8	38 31.1	42 34.4	31 25.4	1 0.8	6 4.9	12 9.8
	息子・娘と同居 (息子・娘は64歳以下)	381 100.0	250 65.6	243 63.8	170 44.6	140 36.7	113 29.7	67 17.6	6 1.6	21 5.5	34 8.9
	その他	113 100.0	72 63.7	70 61.9	49 43.4	38 33.6	26 23.0	24 21.2	4 3.5	9 8.0	9 8.0

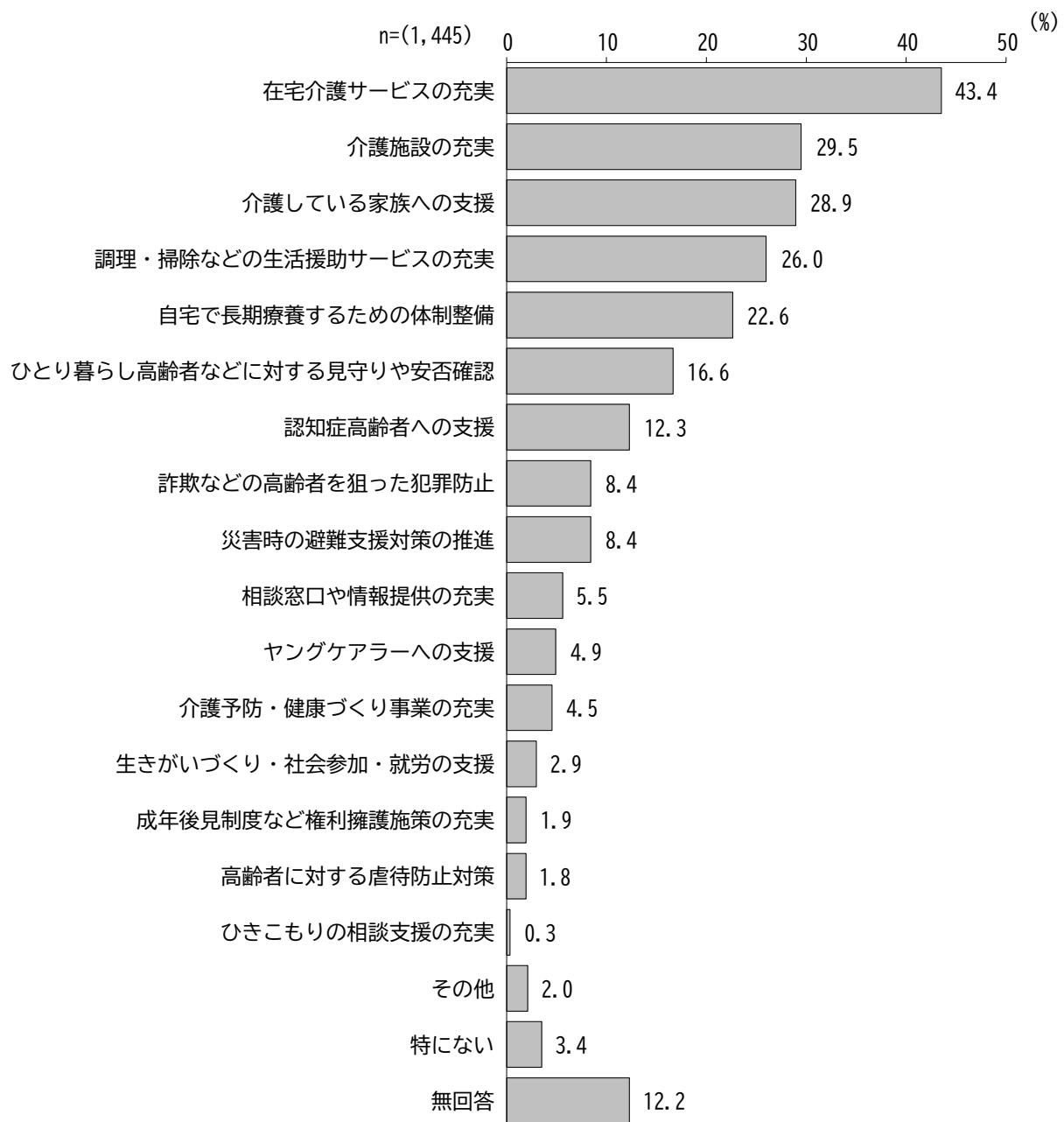
## 6. 高齢者施策全般について

### (1) 優先的に取り組む必要がある高齢者施策

問22 目黒区において、これからの高齢者施策で優先的に取り組む必要があると思うものはどれですか。(〇は3つまで)

優先的に取り組む必要がある高齢者施策は、「在宅介護サービスの充実」が43.4%で最も高く、次いで「介護施設の充実」が29.5%、「介護している家族への支援」が28.9%となっている。

図表2-6-1 優先的に取り組む必要がある高齢者施策（複数回答）



## 7. 自由意見

問23 介護保険制度や高齢者保健福祉施策に関してご意見やご提案がありましたら、お聞かせください。

239名の方から寄せられた回答を、原文の文意が損なわれないように要約・抜粋して記載。

### 介護保険制度や高齢者保健福祉施策全般について

- 老々介護が増えることを前提に新たなサポートシステムを構築して頂ければ有難いです。
- 現状維持する為に、介護福祉のサービスの質（量も含めて）を落とさないように願います。目黒区の施策は他地域と比較して、とても良いと感じております。
- 介護保険制度を必要としているのは高齢者だけではなく、広い年代に認知症などサービスを要する人がいます。ひとくくりにしないでほしいです。
- 65才になった時に強制的に介護保険に変わりました。障害者を介護保険に変更するのはやめた方が良くと思います。
- 紙おむつ代の支給申請期間を前6ヵ月分から長くしてほしい。
- 各保険制度の分かりやすい説明をお願い致します。
- ひとり暮らしの高齢者への支援の充実。介護者（通い）の生活のサポーターも必要。
- 介護保険の手続き全般が紙行政で、IT化が遅れている。又、受給申請するにあたり、受給者（難病患者）本人が役所の窓口に出向かなければならないのは負担である。健康保険証や、マイナンバーカードに必要な情報を盛り込めば済むはずである。
- 目黒区のオムツ代の支給は、できればもう少し金額アップしていただきたいです。
- 目黒区の取組として、高齢者向けのごみ出しサービスを検討してほしい。
- 現在の高齢者保険福祉施策は大変充実している施策と思います。
- 介護保険利用時にスピーディに利用出来るように。一人暮らしの高齢者でも手続き等出来るように。
- 家族、親族のいない人に対する制度、福祉施策の充実。これから多くなると思うのでよい施策を考えてもらいたい。
- 介護情報など、月2回ほど対象になる家庭にポストに入れていただき、お知えてくだされば有難いです。
- 子どものいない高齢者への支援が薄く感じます。独り者の高齢者は税制優遇も医療費の支援も無い。これから増えるであろう孤独な高齢者支援を考えてほしいです。
- 介護保険を使える場所、対象になる金額、対象になる物が限られているのでもう少し緩和して使いやすくしてほしい。
- 見えない部分で、家族が支えているまたは時間を費やして普段の仕事にも大きな負担がかかっていることを考慮した制度設計や審査を是非お願いしたい。
- 近場で地域の介護予防の体操が開催されていたので母を連れて行ったところ介護保険を使っている人は参加出来ないと断られました。出来なくても、連れて行く場所があるだけで、介護される側も介護者も精神的に救われる面があります。ご一考願いたいです。
- 介護保険料を払っている金額の割に使えるサービスが少ない感じがする。

## 第2章 要介護認定者調査

○減数している現役世代へ予算は割いてほしい。

### 介護保険料について

○介護保険料をもっと下げてほしいです。

○簡単に値上げに方向づけをせず、不要なものを切り捨て利用者のことを考慮し、無駄をはぶき、利用改善につとめてほしい。

○健康で制度を利用しなくても保険料は取られる。制度を使わなかった場合は、割戻しがあればよい。使っても使わなくても徴収されるのは不公平感がある。

○国民年金しかもらってない低所得高齢者には介護保険料を無料にしてもらいたい。

### 要介護認定について

○認定方法の改善を望みます。介護する家族等が、どのように携わっているかの調査。介護認定を受ける本人の不自由度を、もっと見てもらいたい。

### 在宅サービスについて

○ショートステイが出来る所が自宅から近い所で、高額でない事を望む。出来たら、毎日行っているデイサービスがやってくれる事を望みます。

○デイサービスの人数が増えて、ゲームをしても順番待ちで疲れるし、職員さん達が忙しそうで声をかけにくい。

○夕食を出してくれる事業所がありません。ショートステイの泊まりだと準備も大変です。毎回でなくても月イチか2で夕食出してくれるところがあれば同居家族は安心です。家族が仕事を続けられる介護のサポート策を練っていただけを願っています。

○必要な時にショートステイを利用できるようにしてほしい。

○デイサービスでは色々なレクリエーションがあるが、ショートステイではほとんど食堂でテレビを観て過ごすだけで、病院に居るような感覚になるので、もう少し滞在中の楽しみがあると良いと思う。

○介護者の仕事もあるので、早く帰って来てしまうと迎えに出られない為、デイサービスの利用をしていません。できれば長い時間預かってほしい。

○定期巡回のサービス供給量を増やすようご尽力をお願いします。新たに利用しようとしてもキャパシティがいっぱいで利用できない状況です。

### 施設サービスについて

○特別養護老人ホームの入居条件をフルオープンにして、条件、順番を教えてほしい。

○生活水準に合わせた老人介護施設の拡充。

○特別養護老人ホームに関して、義母も順番待ちが続き、結局入所できずに亡くなりました。この順番待ちというシステムがわかりません。

○気軽に利用（入居）出来るような施設の増加や拡充、制度を確立していただきたい。

- 家族に迷惑を掛ないように特別養護老人ホームにと思っても、施設そのものに入れません。
- 目黒区内に特別養護老人ホームをもっと作ってほしい。
- 老老介護に対しては、施設利用の優先などの配慮をしてほしい。
- 目黒区には入所出来る老健施設が少なすぎると思います。リハビリをしてくれる入所施設を充実してほしいです。
- 待機者が多く順番がなかなか回ってこない状況です。今後高齢者は増えますが、働ける家族がケアのため働きに行けなくなる悪循環を懸念しています。

### ケアマネジャーについて

- 常にケアマネジャーは介護者の状態を意識する事。その為に手を打つ、心を常にもつ事。

### 介護人材について

- 虐待するスタッフがいなくなるように、雇い時によく見極める力を。
- 国はもっと 理学療法士さん達の位を上げてほしいです。
- 介護福祉に携わる人員の充足と、給与体系の見直しを求めます。人口の高齢化に鑑み、長期的な視点で対応すべきです。
- デイサービスの介護の人を増やしてほしいと思います。
- やさしいヘルパーさんの養成を切に願います。
- 人手不足が心配です。現場で働いている人を大事にしてください。当事者本人の目線も尊重してください。
- 人手不足や低賃金の問題があり行政として外国人活用や賃上げなど介護の担い手にも目を向けてほしい。
- 在宅看護師さんが増えることを願います。

### 経済的負担について

- 在宅介護をしている人に対しての援助を充実してほしい。日中依頼するヘルパーが自費にならない工夫をしてほしい。
- 介護者に対して交通料金（電車、バス）を検討してほしい。
- サービスを受けたくても2割（3割）負担ではサービスを控えざるをえない。
- 現役生活を終え働かない生活に入っても支払いの多いこと。贅沢まで行かなくてもある程度の生活が欲しいです。
- 介護認定者に対しては、入院時にかかる衣類（寝巻）や、食事、オムツ代はどうにかならないだろうか。
- 病院に行く時だけでも補助金が出ると良いと思います。
- 厚生年金ではなく、国民年金の世帯ですと、介護サービスを受けるのは苦しいと思います。

### 家族介護について

- 介護している家族への支援をもっと充実してほしい。
- 在宅で介護されている方の介護疲れによる殺害などの防止。
- 介護者家族が自宅で介護が続けられるような家族への労いの制度、支援金などモチベーションが少しでも上がるような取組が必要。

### 介護事業者について

- A Iの活用、介護ロボットの活用、トイレ付ベッドの活用。
- 急に対応してほしい時、応えてくれる事。マッサージしながら話して頂き、癒やしがほしい。
- この仕事に携わっている方々はよくやってくれています。

### その他

- サービスを受けながら在宅生活を維持できる事が希望なのですが、全てを頼るのでなく自分でできる事はするとの考えが必要かと思っている。
- 公園や縁道など椅子が所々にあると良いと思う。
- 体が不自由だから要介護なのに、このようなアンケートを紙やネットでやらせようとするのがお役所仕事だと思います。介護負担割合や利用料などはマイナンバーを使って把握するなど工夫が必要。ケアマネジャーさんの訪問を利用して聞き取りするなどできると思う。
- 調査やきれい事の質問や返回答を求めるだけでなく、この区ではこのような取組をしているというモデルを教えてほしい。
- 高齢者の子ども扱いをやめてほしい。
- 車イスの生活で1人でももう少し楽に日々を過ぎて頂きたいです。(多目的トイレの設置、歩道の段差、A T M・セルフレジの高さ、バスの利用(乗降)がしづらい。)
- 自分でのリハビリの充実に力を貸していただけたらと思っています。
- 介護機器の安全性と性能の向上。介護機器の安全認証が不十分です。セーフティマークもない。
- 目黒区役所内で介護申請手続きへ行くと、何ヶ所も重複して行かされる。手続きが煩雑、かつ利用者に不親切極まりない。フローを整理して、必要な書類を一種類記入すれば、後は区役所内での仕事のフローとして職員が書類を回せば済むことではないか。